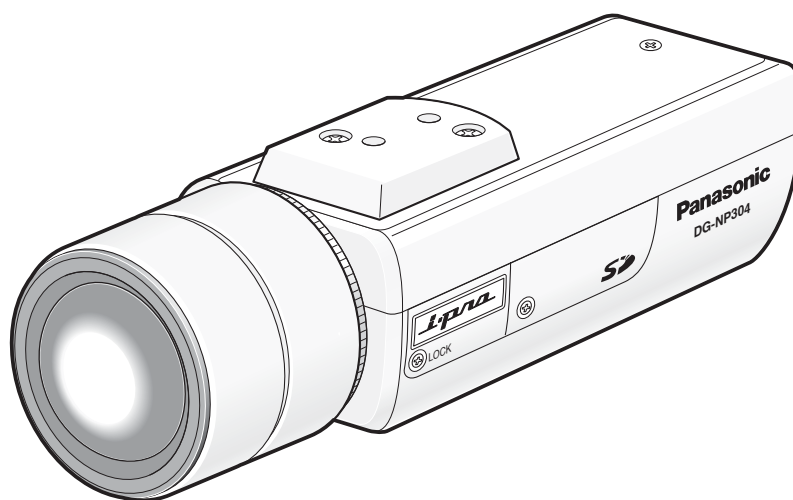
Panasonic

# 取扱説明書　設定編

ネットワークカメラ

品番　DG-NP304,DG-NP304V

（イラストはDG-NP304Vです）

# はじめに

## 取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書（PDFファイル）、操作編（PDFファイル）と基本編の3部構成になっています。
本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピューター（以下、PC）から本機を設定する方法について説明しています。

- DG-NP304　：レンズ別売り
- DG-NP304V：メガピクセルカメラ対応2倍バリフォーカルレンズ付き

本機の設置のしかたおよびネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書　基本編をお読みください。
PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe Reader日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe Reader日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

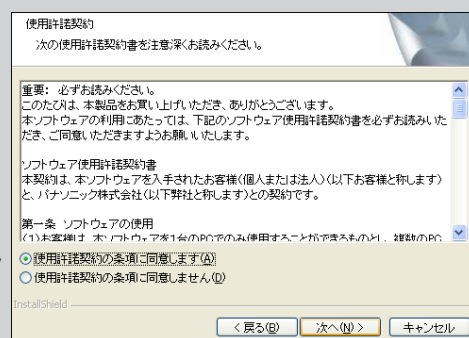
## 商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「i-mode」ロゴおよび「iモード」は、NTTドコモの登録商標または商標です。
- SDロゴは商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 表示用プラグインソフトウェアについて

- 本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROM内の「nwcv3setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

**重要**

- お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」が「許可する」に設定されています。情報バーにメッセージが表示される場合は、82ページをお読みください。
- 最初にPCから本機のライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。

- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、設定メニューの［バージョンアップ］タブで確認できます（→68ページ）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

# もくじ

## はじめに



## 設定

## その他

# PCから設定する

PCから設定メニューを表示してカメラまたはソフトウェアの各種機能を設定します。

**重要**

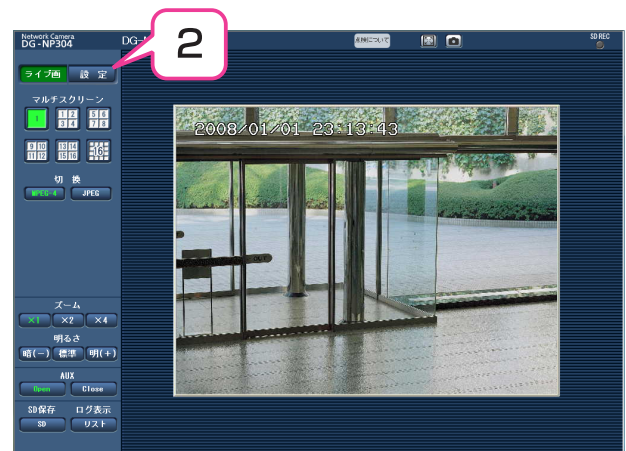
●設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、50ページをお読みください。

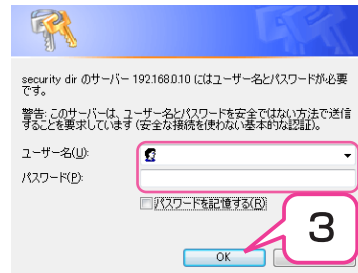
## 表示のしかた

**1　ライブ画ページを表示する**

(→取扱説明書 『操作編』)

**2　ライブ画ページの［設定］ボタンをクリックする**

●ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

**3　「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックする**

●設定メニューが表示されます。

**4　操作する**

●設定メニューの操作については、7ページをお読みください。

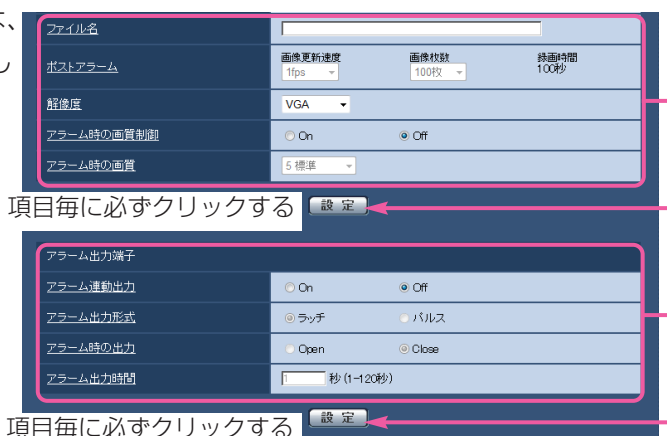
# 操作のしかた

1 **画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示する**
- ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

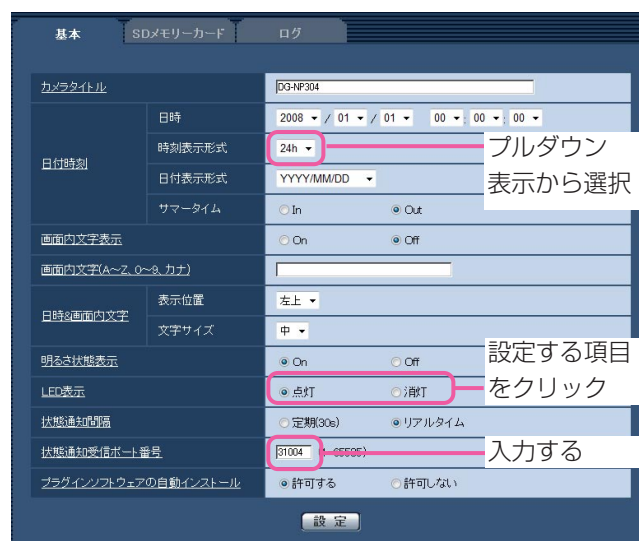
2 **設定ページ（→8～66ページ）の各項目を入力する**

3 **入力が終了したら［設定］ボタンをクリックして、設定する**

**メモ**

- ［設定］、［登録］ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに［設定］、［登録］ボタンを必ずクリックしてください。

- 本機の設定項目は、「プルダウン」表示から選択する、「チェックボタン」をクリックする、「入力欄」に入力するのいずれかで設定します。
- 各項目の「初期設定」は「下線」で表します。

（下線部は初期設定です）

| | | |
|---|---|---|
| ③ | ［時刻表示形式］ | 時刻の表示方法を選択します。［日時］ください。日付時刻を表示しない場合は、 |
| | 24 h | 時刻を24時間形式で表示します。 |
| | 12 h | 時刻を12時間形式で表示します。 |
| | | ⋮ |
| ⑪ | ［LED表示］ | 以下のLEDを点灯するかどうかを設定します。動作状態をLEDで確認する場合は、 |
| | 点灯 | LEDを点灯します。 |
| | | ⋮ |
| ⑬ | ［状態通知受信ポート番号］ | 「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合は、状態を通知する通知 |
| | 31004 | 設定可能範囲：1～65535 |

# 設定メニューの画面について

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［ライブ画］ボタン（→取扱説明書 『操作編』） | ライブ画ページを表示します。 |
| ② | ［基本］ボタン（→8ページ） | 基本ページを表示します。カメラタイトル、日時などの基本設定やSDメモリーカードに関する情報を設定します。 |
| ③ | ［カメラ］ボタン（→21ページ） | カメラページを表示します。JPEG／MPEG-4画像の画質・解像度などカメラに関する情報を設定します。 |
| ④ | ［マルチスクリーン］ボタン（→35ページ） | マルチスクリーンページを表示します。マルチスクリーンで表示するカメラを最大16台まで登録できます。 |
| ⑤ | ［アラーム］ボタン（→36ページ） | アラームページを表示します。アラーム発生時の動作、VMDエリア、アラーム通知先に関する情報を設定します。 |
| ⑥ | ［ユーザー管理］ボタン（→48ページ） | ユーザー管理ページを表示します。本機にアクセスするユーザー、PCの認証を登録します。 |
| ⑦ | ［サーバー］ボタン（→53ページ） | サーバーページを表示します。本機がアクセスするメールサーバー、FTPサーバー、NTPサーバーに関する情報を設定します。 |
| ⑧ | ［ネットワーク］ボタン（→56ページ） | ネットワークページを表示します。本機のネットワークに関する情報を設定します。 |
| ⑨ | ［スケジュール］ボタン（→65ページ） | スケジュールページを表示します。アラーム入力許可やVMD検出許可などを行うスケジュールを設定します。 |
| ⑩ | ［メンテナンス］ボタン（→67ページ） | メンテナンスページを表示します。システムログ表示、ソフトウェアバージョンアップ、初期化を実行します。 |
| ⑪ | ［ヘルプ］ボタン（→73ページ） | ヘルプページを表示します。 |
| ⑫ | ステータス表示部 | 現在設定しているカメラタイトルを表示します。 |
| ⑬ | 設定ページ | 各設定メニューのページを表示します。表示する機能によって、複数のタブで構成しているページがあります。下線がついている項目をクリックすると、該当のヘルプページが表示されます。 |

# 本機の基本設定

基本ページでは、本機の名称、時刻設定、SDメモリーカードに関する情報を設定します。
基本ページは、［基本］タブ、［SDメモリーカード］タブ、［ログ］タブで構成されています。

## 基本設定を行う［基本］

基本ページの［基本］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、本機の名称および日時などの基本的な情報を設定します。

（下線部は初期設定です）　　　　（1/3）

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［カメラタイトル］ | 本機の名称を入力します。［設定］ボタンをクリックすると、入力した名称をステータス表示部に表示します。 |
| | DG-NP304 | 入力可能文字数：0〜20文字 |
| ② | ［日時］ | 現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12 h」を選択した場合は、「AM／PM」を選択します。2036年以降は、日付時刻が表示されなくなります。 |
| | （製造年月の1日） | 設定可能範囲：2007/01/01　0:00:00　〜　2035/12/31　23:59:59<br>例：2008年4月製造の場合は2008／04／01と表示されます。 |
| ③ | ［時刻表示形式］ | 時刻の表示方法を選択します。「日時」は、この設定にあわせて選択してください。日付時刻を表示しない場合は、「Off」に設定してください。 |
| | 24 h | 時刻を24時間形式で表示します。 |
| | 12 h | 時刻を12時間形式で表示します。 |
| | Off | 日付時刻を表示しません。 |
| ④ | ［日付表示形式］ | 日付の表示形式を選択します。「日時」を「2008年4月1日　13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は以下のとおりです。 |
| | DD/MM/YYYY | 01/04/2008 13:10:00 |
| | MM/DD/YYYY | 04/01/2008 13:10:00 |
| | DD/Mmm/YYYY | 01/Apr/2008 13:10:00 |
| | YYYY/MM/DD | 2008/04/01 13:10:00 |
| | Mmm/DD/YYYY | Apr/01/2008 13:10:00 |

(下線部は初期設定です)　　　　(2/3)

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ⑤ | ［サマータイム］ | サマータイムを使用するかどうかを設定します。サマータイムを使用する地域でご使用ください。 |
| | In | サマータイムを使用します。時刻表示に「＊」を表示します。 |
| | Out | サマータイムを解除します。 |
| ⑥ | ［画面内文字表示］ | 「画面内文字」で入力した文字列を画像上に表示させるかどうかを設定します。 |
| | On | 「日時＆画面内文字表示位置」で設定した場所に「画面内文字」で入力した文字列を表示させます。 |
| | Off | 画像上に文字列を表示しません。 |
| ⑦ | ［画面内文字（A～Z、0～9、カナ）］ | 画像内で表示する本機の名称を入力します。<br>入力可能文字数：0～16文字<br>入力可能文字　：0～9 （半角）、A～Z（半角、大文字）、全角カナ、半角記号 (! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; = ?) |
| ⑧ | ［日時&画面内文字 表示位置］ | ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示する文字の位置を設定します。 |
| | 左上 | 画像内の左上に表示します。 |
| | 左下 | 画像内の左下に表示します。 |
| | 右上 | 画像内の右上に表示します。 |
| | 右下 | 画像内の右下に表示します。 |
| ⑨ | ［日時&画面内文字 文字サイズ］ | ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示する文字のサイズを設定します。 |
| | 大 | 画像内の文字を大きく表示します。 |
| | 中 | 画像内の文字を標準で表示します。 |
| | 小 | 画像内の文字を小さく表示します。 |
| ⑩ | ［明るさ状態表示］ | 明るさ操作時にライブ画ページの画像内に明るさ状態を表示するかどうかを設定します。 |
| | On | 明るさ状態を表示します。 |
| | Off | 明るさ状態を表示しません。 |
| ⑪ | ［LED表示］ | 以下のLEDを点灯するかどうかを設定します。動作状態をLEDで確認する場合は、「点灯」を選択します。<br><br>●リンクLED［橙色］　：接続機器と通信可能になると点灯します。<br>●アクセスLED［緑色］：ネットワークにアクセスすると点灯します。<br>●SDメモリーカードエラーLED/フォーカスアシストLED［赤色］<br>：SDメモリーカードに保存できないとき<br>：フォーカスアシストを起動したとき<br>：BEST FOCUSを表示したとき |
| | 点灯 | LEDを点灯します。 |
| | 消灯 | LEDを消灯します。 |

（下線部は初期設定です）

（3/3）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑫ | ［状態通知間隔］ | | 本機の状態を通知する間隔を選択します。<br>状態に変化があったときは、ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタン、［AUX］ボタン、［SD保存状態表示］ボタンを表示してお知らせします。<br>**メモ**<br>●ご利用のネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。 |
| | | 定期（30s） | 30秒ごとに状態を通知します。 |
| | | リアルタイム | 状態に変化があると通知します。 |
| ⑬ | ［状態通知受信ポート番号］ | | 「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合は、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。 |
| | | 31004 | 設定可能範囲：1～65535 |
| ⑭ | ［プラグインソフトウェアの自動インストール］ | | 表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。<br>**重要**<br>●PCで画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」をインストールする必要があります。<br>●プラグインソフトウェアのインストール回数は、メンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます（→68ページ）。 |
| | | 許可する | 表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへ自動的にインストールします。 |
| | | 許可しない | 表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。 |
| ⑮ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

# SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］

基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、SDメモリーカードに関する情報を設定します。

(下線部は初期設定です)

(1/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［SDメモリーカードの使用］ | | SDメモリーカードを使用するかどうかを設定します。<br>**重要**<br>●本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してからSDメモリーカードを取り外してください。<br>●SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。<br>●SDメモリーカードに保存された画像を再生またはダウンロードするときは、［ログ］タブ（→17ページ）で「ログ保存」を「On」に設定してください。<br>●画像更新速度の設定が高く、複数のユーザーが画像受信している場合、通知や保存のタイミングがずれることがあります。その場合は、画像更新速度の設定を低くしてください。<br>●SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が短くなる場合があります。 |
| | | 使用する | SDメモリーカードを使用します。 |
| | | 使用しない | SDメモリーカードを使用しません。 |

(下線部は初期設定です)

(2/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ② | [SDメモリーカード残容量通知] | | メール通知機能および独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%の時点で通知を開始するかを以下から選択します。<br><br>**メモ**<br>●SDメモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知します。<br>例えば、「50 %」に設定した場合、残容量が50 %、20 %、10 %、5 %、2 %になったときにそれぞれ通知します。ご利用のネットワーク環境によっては、通知するタイミングがずれることがあります。 |
| | | 50 % | 選択容量：50 %／20 %／10 %／5 %／2 % |
| ③ | [保存モード] | | SDメモリーカードへ画像を保存する方法を選択します。<br><br>**メモ**<br>●FTP定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信する場合は、「FTP定期送信エラー時」に設定してください。<br>●DHCP機能（→56ページ）を「On」にすると、本機にIPアドレスを設定するまでの間、「保存モード」の設定に関わらず画像をSDメモリーカードに保存できません。 |
| | | FTP定期送信エラー時 | FTPサーバーへの定期送信を失敗したときに画像を保存します。 |
| | | アラーム発生時 | アラームが発生したときに画像を保存します。 |
| | | 手動保存 | 画像を手動で保存します。（→取扱説明書 『操作編』） |
| ④ | [上書き] | | SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。<br>「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ設定できます。<br><br>**メモ**<br>●「保存モード」が「手動保存」以外に設定されている場合は、本設定によらず以下のようになります。<br>・FTP定期送信エラー時：上書きされません。<br>・アラーム発生時：上書きして保存されます。 |
| | | 上書きあり | 古い画像から上書きして繰り返し保存します。 |
| | | 上書きなし | SDメモリーカードへの保存を停止します。 |

(下線部は初期設定です)

(3/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑤ | ［ファイル名］ | | SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存するときのファイル名は、「入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号」になります。<br>入力可能文字数：1〜8文字<br><br>**メモ**<br>● 「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合は、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定したファイル名で保存します。 |
| ⑥ | ［保存間隔］ | | アラーム発生時・手動保存時に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。 |
| | | 1 fps | 0.1 fps／0.2 fps／0.33 fps／0.5 fps／1 fps |
| ⑦ | ［保存枚数］ | | アラーム発生時に、SDメモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。 |
| | | 100枚 | 10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1000枚／2000枚／3000枚 |
| ⑧ | ［解像度］ | | 手動保存時にSDメモリーカードへ保存する画像の解像度をQVGA／VGA／1 280×960のいずれかに設定します。<br><br>**メモ**<br>● 「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合は、［FTP定期］タブで設定した解像度で保存します。<br>● 「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合は、［アラーム］タブのアラーム画像設定で設定した解像度で保存します。 |
| | | VGA | 選択解像度：QVGA／VGA／1 280×960 |
| ⑨ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |
| ⑩ | ［容量表示］ | | SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。<br>SDメモリーカードの状態によって、次のように表示する場合があります。<br>● 「----------KB/-----------KB」<br>SDメモリーカードを挿入していない、または読み取りエラーによりサイズが取得できない。<br>● 「**********KB/**********KB」<br>SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロックされている。 |
| ⑪ | ［フォーマット］ | | SDメモリーカードをフォーマットする場合は、［実行］ボタンをクリックします。 |
| ⑫ | ［画像取得］ | | SDメモリーカードから画像を取得する場合は、［実行］ボタンをクリックします。 |

メモ

フォーマットについて

- フォーマットを実行する前に、「SDメモリーカード」を「使用する」（→11ページ）、「定期送信」を「Off」（→62ページ）に設定してください。
- SDメモリーカードは、必ず［SDメモリーカード］タブでフォーマットしてからご使用ください。［SDメモリーカード］タブ以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。
  - ・FTP定期送信に失敗した画像の保存／取得
  - ・アラーム発生時の画像の保存／取得
  - ・手動保存時の画像の保存／取得
  - ・アラームログ、手動保存ログ、FTP定期送信エラーログ、システムログの保存／取得
  - ・弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存／取得
  - ・SDメモリーカード内の画像の再生／ダウンロード
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存していたデータをすべて消去します。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーを作成するため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 推奨SDメモリーカード※
  パナソニック株式会社製（64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB）
  ※SDHCメモリーカードには対応しておりません。
- SDメモリーカードは購入時の状態が、SD規格準拠でフォーマットされているものをご使用ください。

## SDメモリーカード保存枚数の目安

**重要**

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体により変わります。

### 解像度：1 280×960

| SDメモリーカードの容量 | 画　質 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0（最高画質） | 1（高画質） | 2 | 3 | 4 | 5（標準） | 6 | 7 | 8 | 9（低画質） |
| 2 GB | 約4 000枚 | 約5 000枚 | 約6 000枚 | 約7 000枚 | 約8 000枚 | 約10 000枚 | 約14 000枚 | 約16 000枚 | 約18 000枚 | 約20 000枚 |
| 1 GB | 約2 000枚 | 約2 500枚 | 約3 000枚 | 約3 500枚 | 約4 000枚 | 約5 000枚 | 約7 000枚 | 約8 000枚 | 約9 000枚 | 約10 000枚 |
| 512 MB | 約1 000枚 | 約1 250枚 | 約1 500枚 | 約1 750枚 | 約2 000枚 | 約2 500枚 | 約3 500枚 | 約4 000枚 | 約4 500枚 | 約5 000枚 |
| 256 MB | 約500枚 | 約625枚 | 約750枚 | 約875枚 | 約1 000枚 | 約1 250枚 | 約1 750枚 | 約2 000枚 | 約2 250枚 | 約2 500枚 |
| 128 MB | 約250枚 | 約312枚 | 約375枚 | 約437枚 | 約500枚 | 約625枚 | 約875枚 | 約1 000枚 | 約1 125枚 | 約1 250枚 |
| 64 MB | 約125枚 | 約156枚 | 約188枚 | 約219枚 | 約250枚 | 約312枚 | 約437枚 | 約500枚 | 約562枚 | 約625枚 |

### 解像度：VGA

| SDメモリーカードの容量 | 画　質 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0（最高画質） | 1（高画質） | 2 | 3 | 4 | 5（標準） | 6 | 7 | 8 | 9（低画質） |
| 2 GB | 約10 000枚 | 約14 000枚 | 約16 000枚 | 約18 000枚 | 約20 000枚 | 約22 000枚 | 約26 000枚 | 約28 000枚 | 約30 000枚 | 約32 000枚 |
| 1 GB | 約5 000枚 | 約7 000枚 | 約8 000枚 | 約9 000枚 | 約10 000枚 | 約11 000枚 | 約13 000枚 | 約14 000枚 | 約15 000枚 | 約16 000枚 |
| 512 MB | 約2 500枚 | 約3 500枚 | 約4 000枚 | 約4 500枚 | 約5 000枚 | 約5 500 枚 | 約6 500枚 | 約7 000枚 | 約7 500枚 | 約8 000枚 |
| 256 MB | 約1 250枚 | 約1 750枚 | 約2 000枚 | 約2 250枚 | 約2 500枚 | 約2 750枚 | 約3 250枚 | 約3 500枚 | 約3 750枚 | 約4 000枚 |
| 128 MB | 約625枚 | 約875枚 | 約1 000枚 | 約1 125枚 | 約1 250枚 | 約1 375枚 | 約1 625枚 | 約1 750枚 | 約1 875枚 | 約2 000枚 |
| 64 MB | 約312枚 | 約437枚 | 約500枚 | 約562枚 | 約625枚 | 約687枚 | 約812枚 | 約875枚 | 約937枚 | 約1 000枚 |

### 解像度：QVGA

| SDメモリーカードの容量 | 画　質 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0（最高画質） | 1（高画質） | 2 | 3 | 4 | 5（標準） | 6 | 7 | 8 | 9（低画質） |
| 2 GB | 約24 000枚 | 約26 000枚 | 約27 000枚 | 約28 000枚 | 約30 000枚 | 約32 000枚 | 約36 000枚 | 約38 000枚 | 約40 000枚 | 約42 000枚 |
| 1 GB | 約12 000枚 | 約13 000枚 | 約13 500枚 | 約14 000枚 | 約15 000枚 | 約16 000枚 | 約18 000枚 | 約19 000枚 | 約20 000枚 | 約21 000枚 |
| 512 MB | 約6 000枚 | 約6 500枚 | 約6 750枚 | 約7 000枚 | 約7 500枚 | 約8 000枚 | 約9 000枚 | 約9 500枚 | 約10 000枚 | 約10 500枚 |
| 256 MB | 約3 000枚 | 約3 250枚 | 約3 375枚 | 約3 500枚 | 約3 750枚 | 約4 000枚 | 約4 500枚 | 約4 750枚 | 約5 000枚 | 約5 250枚 |
| 128 MB | 約1 500枚 | 約1 625枚 | 約1 687枚 | 約1 750枚 | 約1 875枚 | 約2 000枚 | 約2 250枚 | 約2 375枚 | 約2 500枚 | 約2 625枚 |
| 64 MB | 約750枚 | 約812枚 | 約843枚 | 約875枚 | 約937枚 | 約1 000枚 | 約1 125枚 | 約1 187枚 | 約1 250枚 | 約1 312枚 |

# SDメモリーカード内の画像をPCに保存する

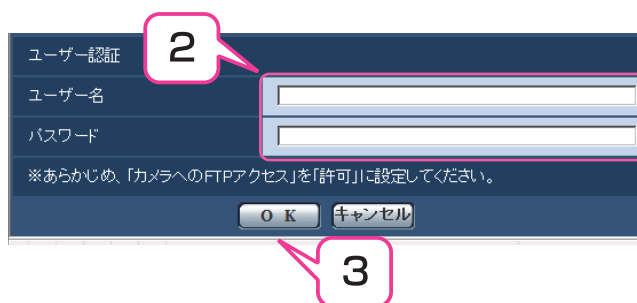
基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、SDメモリーカードに保存した画像をPCに保存する方法を説明します。あらかじめ、「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください（→58ページ）。

**重要**
- 他のユーザーが画像取得を実行しているときは操作できないことがあります。しばらく待ってから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。その場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

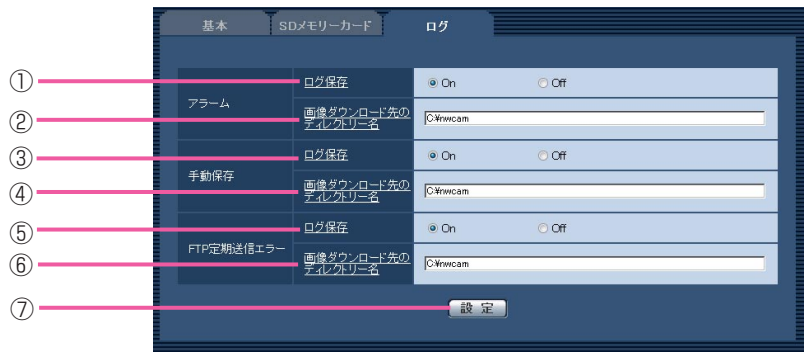
**1** 「画像取得」の［実行］ボタンをクリックする
- ユーザー認証画面が表示されます。

**2** ユーザー名とパスワードを入力する

**3** ［OK］ボタンをクリックする
- SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。
- 取得する画像またはフォルダーをPCに保存します。ここで表示された画面内に画像ファイルは表示できません。PCに保存してから表示してください。

●ユーザー認証画面

**メモ**
- 画像取得の操作で本機にログインすると、最初にBドライブを表示します。Bドライブでは、保存モードに応じたディレクトリー内に画像が保存されています。それぞれのディレクトリーに移動して画像を取得してください。ディレクトリー構造について詳しくは、84ページをお読みください。

# ログリストを設定する［ログ］

基本ページの［ログ］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、ログリストに関する情報を設定します。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ①<br>③<br>⑤ | ［ログ保存］ | | アラームログリストに、ログを保存するかどうかを設定します。<br>①アラームログリスト<br>③手動保存ログリスト<br>⑤FTP定期送信エラーログリスト |
| | | On | ログを保存します。 |
| | | Off | ログを保存しません。 |
| ②<br>④<br>⑥ | ［画像ダウンロード先のディレクトリー名］ | C:¥nwcam | ログに関連づけした画像をダウンロードするPCのディレクトリーを入力します。例えば、Cドライブのalarmディレクトリーを指定する場合は、「C:¥alarm」と入力します。<br>②アラームログリスト<br>④手動保存ログリスト<br>⑥FTP定期送信エラーログリスト<br>入力可能文字数：3～128文字<br>入力可能文字　：半角英数字、半角記号 ¥ : / _ |
| ⑦ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

## アラームのログと画像の保存関係について

| ［ログ］タブ | ［SDメモリーカード］タブ | | アラームのログと画像 |
|---|---|---|---|
| アラーム：ログ保存 | SDメモリーカードの使用 | 保存モード | |
| On | 使用する | アラーム発生時 | ログ：最大3 000件まで保存されます。3 000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが3 000件に到達すると、ログと同期して古い画像から上書きされます。 |
| | | 上記以外 | ログ：最大3 000件まで保存されます。3 000件を超えると、古いログから上書きされます。<br>画像：保存されません。 |
| | 使用しない | ― | ログ：最大1 000件まで保存されます。1 000件を超えると、古いログから上書きされます。電源を切るとログは消去されます。<br>画像：保存されません。 |
| Off | 使用する | アラーム発生時 | ログ：保存されません。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。<br>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→16ページ）してから表示してください。 |
| | | 上記以外 | ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。 |
| | 使用しない | ― | ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。 |

## 手動保存のログと画像の保存関係について

<table>
<tr><th>［ログ］タブ</th><th colspan="3">［SDメモリーカード］タブ</th><th rowspan="2">手動保存のログと画像</th></tr>
<tr><th>手動保存：<br>ログ保存</th><th>SDメモリー<br>カードの使用</th><th>保存モード</th><th>上書き</th></tr>
<tr><td rowspan="4">On</td><td rowspan="3">使用する</td><td rowspan="2">手動保存</td><td>上書き<br>する</td><td>ログ：最大 3 000件まで保存されます。3 000件を超えると、古いログから上書きされます。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが3 000件に到達するとログと同期して古い画像から上書きされます。</td></tr>
<tr><td>上書き<br>しない</td><td>ログ：最大3 000件まで保存されます。3 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは3 000件まで保存されます。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが3 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>－</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
<tr><td>使用しない</td><td>－</td><td>－</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Off</td><td rowspan="3">使用する</td><td rowspan="2">手動保存</td><td>上書き<br>する</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。<br>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→16ページ）してから表示してください。</td></tr>
<tr><td>上書き<br>しない</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。<br>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→16ページ）してから表示してください。</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>－</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
<tr><td>使用しない</td><td>－</td><td>－</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
</table>

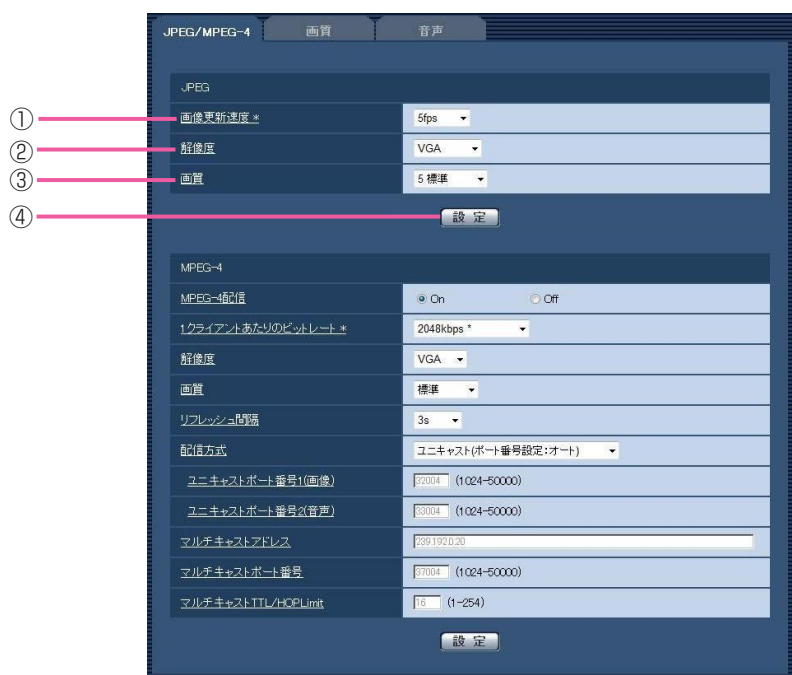
## FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について

<table>
<tr><th>［ログ］タブ</th><th colspan="2">［SDメモリーカード］タブ</th><th rowspan="2">FTP定期送信エラーのログと画像</th></tr>
<tr><th>FTP定期送信エラー：ログ保存</th><th>SDメモリーカードの使用</th><th>保存モード</th></tr>
<tr><td rowspan="3">On</td><td rowspan="2">使用する</td><td>FTP定期送信エラー時</td><td>ログ：最大3 000件まで保存されます。3 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは3 000件まで保存されます。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが3 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
<tr><td>使用しない</td><td>－</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Off</td><td rowspan="2">使用する</td><td>FTP定期送信エラー時</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量が無くなると、画像は保存されなくなります。<br>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→16ページ）してから表示してください。</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
<tr><td>使用しない</td><td>－</td><td>ログ：保存されません。<br>画像：保存されません。</td></tr>
</table>

# 画像・音声に関する設定

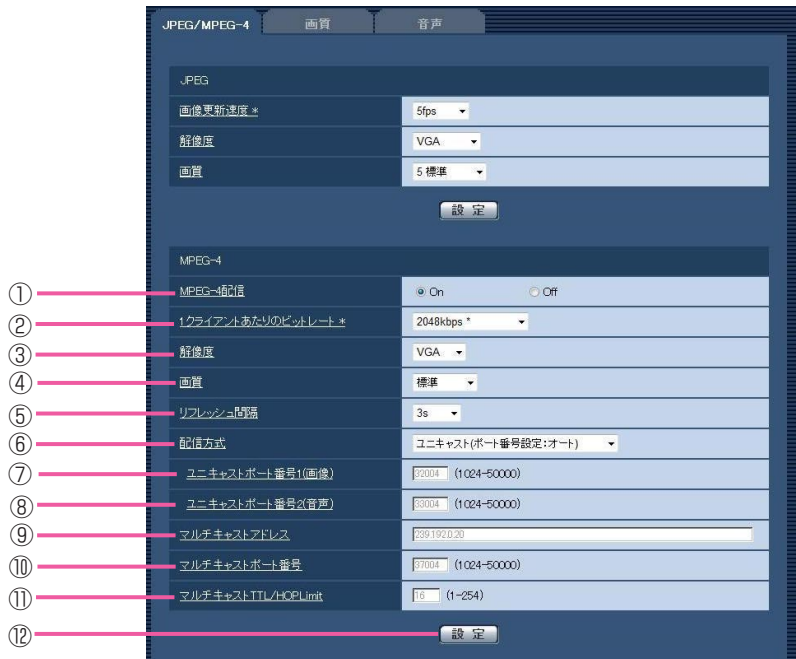
カメラページでは、JPEG／MPEG-4画像、画質、音声に関する情報を設定します。カメラ設定ページは、［JPEG/MPEG-4］タブ、［画質］タブ、［音声］タブで構成しています。

## JPEG画像を設定する［JPEG/MPEG-4］

カメラページの［JPEG/MPEG-4］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、JPEG画像の更新速度、解像度、画質を設定します。MPEG-4画像に関する設定については22ページをお読みください。

(下線部は初期設定です)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［画像更新速度］ | | JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。<br>**メモ**<br>● 「MPEG-4配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。 |
| | | 5 fps | 0.1 fps／0.2 fps／0.33 fps／0.5 fps／1 fps／2 fps／3 fps／5 fps／6 fps *／10 fps *／15 fps *／30 fps * |
| ② | ［解像度］ | | JPEG画像の解像度をQVGA／VGA／1 280×960のいずれかに設定します。 |
| | | VGA | QVGA／VGA／1 280×960 |
| ③ | ［画質］ | | JPEG画像の画質を設定します。画質は、以下から選択します。 |
| | | 5 標準 | 0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質 |
| ④ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

# MPEG-4画像を設定する［JPEG/MPEG-4］

カメラページの［JPEG/MPEG-4］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、MPEG-4画像のビットレート、解像度、画質などを設定します。JPEG画像に関する設定については21ページをお読みください。

(下線部は初期設定です)

（1/3）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［MPEG-4配信］ | | MPEG-4画像を配信するかどうかを設定します。<br>**メモ**<br>●「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、MPEG-4画像とJPEG画像の両方を見ることができます。ただし、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。 |
| | | On | MPEG-4画像を配信します。 |
| | | Off | MPEG-4画像を配信しません。 |
| ② | ［1クライアントあたりのビットレート］ | | 1クライアントに対するMPEG-4ビットレートを以下から選択します。<br>**メモ**<br>●ビットレートは、ネットワークページの［配信量制御（ビットレート）］と連動します（→58ページ）。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。<br>●（フレームレート優先）制限なし*に設定した場合、MPEG-4画像配信は1ユーザーに制限されます。 |
| | | （固定ビットレート）2048 kbps | 選択レート：（固定ビットレート）64 kbps／128 kbps *／256 kbps *／512 kbps *／1 024 kbps *／1 536 kbps *／2 048 kbps *／3 072 kbps *／4 096 kbps *／<br>（フレームレート優先）4 096 kbps *／制限なし* |

(下線部は初期設定です)　　　　(2/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ③ | ［解像度］ | | MPEG-4画像の解像度をQVGA／VGAのどちらかに設定します。 |
| | | VGA | QVGA／VGA |
| ④ | ［画質］ | | MPEG-4画像の画質を選択します。<br>**メモ**<br>●「1クライアントあたりのビットレート」が「(フレームレート優先) 4 096 kbps *」または「制限なし *」を選択している場合は設定できません。 |
| | | 動き優先 | 動きを優先します（画質は粗くなります)。 |
| | | 標準 | 標準の設定です。 |
| | | 画質優先 | 画質を優先します（コマ落ちする場合があります)。 |
| ⑤ | ［リフレッシュ間隔］ | | MPEG-4画像をリフレッシュする間隔（iフレーム間隔）を以下から選択します。ご利用のネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。 |
| | | 3 s | 0.2 s／0.33 s／0.5 s／1 s／2 s／3 s／4 s／5 s |
| ⑥ | ［配信方式］ | | MPEG-4画像の配信方式を選択します。<br>ユニキャストを選択した場合は、1台のカメラに最大16人までアクセスできます。<br>マルチキャストを選択した場合は、人数制限なしに同時にアクセスできます（最大ユーザー数について　→取扱説明書 『操作編』)。 |
| | | ユニキャスト（ポート番号設定：オート） | ユニキャストでMPEG-4画像を送信するときに使用するポート番号は自動的に割り当てられます。<br>**メモ**<br>●ネットワーク内で使用する場合など、MPEG-4画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート)」に設定することをお勧めします。 |
| | | ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル） | ユニキャストでMPEG-4画像を送信するときに選択します。使用するポート番号を設定してください。<br>**メモ**<br>●インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合などは、ブロードバンドルーターに設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください。詳しくは、使用するブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。 |
| | | マルチキャスト | マルチキャストでMPEG-4画像を送信するときに「マルチキャストアドレス」「マルチキャストポート番号」「マルチキャストTTL/HopLimit」を入力します。 |

# 画像・音声に関する設定（つづき）

(下線部は初期設定です)

(3/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑦ | ［ユニキャストポート番号1（画像）］※1 | | ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用するポート番号）を入力します。 |
| | | 32004 | 設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ） |
| ⑧ | ［ユニキャストポート番号2（音声）］※1 | | ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用するポート番号）を入力します。 |
| | | 33004 | 設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ） |
| ⑨ | ［マルチキャストアドレス］※2、※3 | | マルチキャストアドレスのIPアドレスを入力します。指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。 |
| | | 239.192.0.20 | IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス<br>**メモ**<br>●使用可能なマルチキャストアドレスをご確認のうえ、設定してください。<br>IPv4設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255 |
| ⑩ | ［マルチキャストポート番号］※2 | | マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用するポート番号）を入力します。<br>**重要**<br>●マルチキャストポート番号は、未使用のポート番号を入力してください。 |
| | | 37004 | 設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ） |
| ⑪ | ［マルチキャストTTL/HOPLimit］※2 | | マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。<br>**重要**<br>●インターネット経由でMPEG-4画像を配信できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。<br>●複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、カメラ接続しているネットワークに接続していないLANカードを無効にしてください。 |
| | | 16 | 設定可能範囲：1～254 |
| ⑫ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

※1「配信方式」が「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」の場合に設定します。
※2「配信方式」が「マルチキャスト」の場合に設定します。
※3 マルチキャストアドレスに入力したIPバージョン以外でアクセスした場合は配信されません。

# 画質を設定する［画質］

カメラページの［画質］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
各項目の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、詳細設定画面を別ウインドウで表示し、［画質］タブに表示されている画像を見ながら設定します。
ここでは、画質調整、プライバシーゾーンを設定します。

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［画質調整］ | ［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、画質調整に関する設定画面を別ウインドウで表示します（→26ページ）。 |
| ② | ［プライバシーゾーン］ | ［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面を表示します（→31ページ）。 |

## 画質の調整を行う（画質調整画面）

［画質］タブで、「画質調整」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします（→25ページ）。
ここでは、画質調整に関して詳細を設定します。値を変更した場合は、［画質］タブに表示されている画像にも、変更した内容を同時に反映します。

（下線部は初期設定です）　　　　（1/3）

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［暗部補正］ | 暗部補正を作動させるかどうかを設定します。<br>**重要**<br>●暗部補正を「On」に設定すると、被写体の暗い部分のノイズが増えることがあります。また、暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。 |
| | On | 被写体の暗くて見えにくい部分を自動的に検知して、明るく補正します。 |
| | Off | 補正しない場合に設定します。 |
| ② | ［光量制御モード］ | 光量制御を行うモードを設定します。 |
| | 屋外撮影 | 電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。屋外など明るい被写体を撮影する場合はこの設定にします。蛍光灯下などではフリッカが発生することがありますので、注意してください。 |
| | フリッカレス | 蛍光灯によるフリッカ（ちらつき）を自動補正します。 |
| | ELC | 手動もしくは固定アイリスレンズ使用時に設定します。 |
| ③ | ［逆光補正（BLC）］ | 逆光補正（BLC）を作動させるかどうかを設定します。 |
| | On | 自動で逆光補正を行います。 |
| | Off | 逆光補正を行うエリアを手動で設定します。 |

（下線部は初期設定です）

（2/3）

<table>
<tr><th>項番</th><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">④</td><td colspan="2">［マスクエリア］</td><td>「逆光補正（BLC）」を「Off」に設定した場合は、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正します。<br>操作方法については、29ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td></td><td>［開始］ボタン</td><td>マスクエリアの設定を開始します。</td></tr>
<tr><td></td><td>［終了］ボタン</td><td>マスクエリアの設定を終了します。</td></tr>
<tr><td></td><td>［リセット］ボタン</td><td>設定したマスクエリアを解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑤</td><td colspan="2">［ゲイン］</td><td>ゲイン（画像信号の増幅度）の調節方法を選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td><u>On（High）</u><br>On（Mid）<br>On（Low）</td><td>被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。<br>（　）内のHigh／Mid／Lowはゲインのレベルになります。</td></tr>
<tr><td></td><td>Off</td><td>ゲインを常に固定した状態で撮影します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑥</td><td colspan="2">［オートスローシャッター］</td><td>オートスローシャッターは、CCDの蓄積時間を変えて感度アップを行います。<br>オートスローシャッターは以下から選択できます。<br><br>重要<br>●「オートスローシャッター」を「On」に設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。<br><br>メモ<br>●「最大 16/30 s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。</td></tr>
<tr><td></td><td><u>Off</u></td><td>Off／最大 2/30 s／最大 4/30 s／最大 6/30 s／最大 10/30 s／最大 16/30 s</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑦</td><td colspan="2">［簡易白黒切換］</td><td>白黒画像とカラー画像の切り換えをします。<br><br>メモ<br>●カラー画像から白黒画像に切り換える明るさ（照度）の目安<br>：「Auto」の場合、約2 lx<br>●カラー画像を白黒画像に切り換えるまでの時間：約5秒</td></tr>
<tr><td></td><td><u>Off</u></td><td>カラー画像を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>Auto</td><td>画面の明るさ（照度）により、カラー画像と白黒画像を自動的に切り換えます。<br>暗い場合は白黒画像に、明るい場合はカラー画像に切り換えます。</td></tr>
</table>

(下線部は初期設定です)

(3/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑧ | ［ホワイトバランス］ | | ホワイトバランスの調節方法を選択します。Rボリューム（赤色の調節）またはBボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。<br><br>**メモ**<br>●以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は、「AWC」に設定してください。<br>・被写体の大部分が濃い色<br>・光源が、抜けるような青空および夕暮れ時の太陽<br>・被写体を照らす照度が暗い<br>●「AWC」を選択した場合は、［設定］ボタンをクリックしてください。 |
| | | ATW1 | 自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。<br>動作範囲は約2 700 K〜6 000 Kです。 |
| | | ATW2 | ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調節します。<br>動作範囲は約2 000 K〜6 000 Kです。 |
| | | AWC | 自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。<br>動作範囲は約2 000 K〜10 000 Kです。 |
| ⑨ | ［Rボリューム］ | | 画像の赤色を調節します。<br>カーソルを＋の方向に動かすと濃くなり、－の方向に動かすと薄くなります。<br>［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。 |
| ⑩ | ［Bボリューム］ | | 画像の青色を調節します。<br>カーソルを＋の方向に動かすと濃くなり、－の方向に動かすと薄くなります。<br>［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。 |
| ⑪ | ［クロマレベル］ | | 画像の色の濃さを調節します。<br>カーソルを＋の方向に動かすと濃くなり、－の方向に動かすと薄くなります。<br>［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。 |
| ⑫ | ［アパーチャレベル］ | | アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。<br>カーソルを＋の方向に動かすとシャープな画像になり、－の方向に動かすとソフトな画像になります。<br>［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。 |
| ⑬ | ［ペデスタルレベル］ | | 画像の黒レベルを調節します。<br>カーソルを＋の方向に動かすと明るくなり、－の方向に動かすと暗くなります。<br>［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。 |
| ⑭ | ［閉じる］ボタン | | 画質調整画面を閉じます。 |

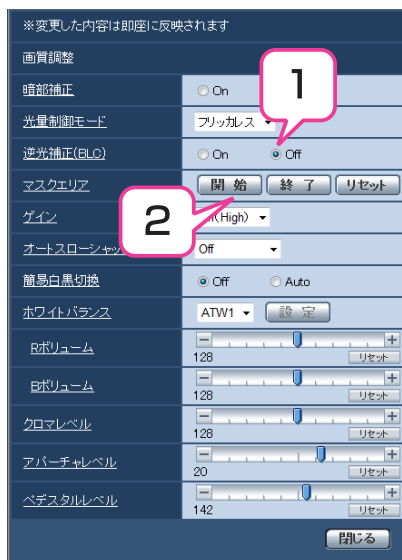
## マスクエリアを設定する

画面の明るい部分にマスクをかけて逆光を補正します。

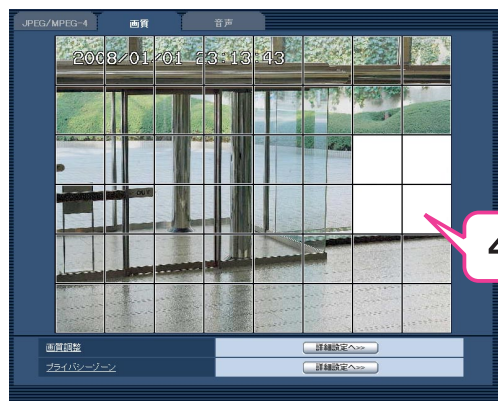
**1** 「逆光補正（BLC）」を「On」に設定している場合は、「Off」に設定する

**2** 「マスクエリア」の［開始］ボタンをクリックする

● ［画質］タブの画像上に6×8の枠が表示されます。

●画質調整画面

**3** マスクをかけるエリアをクリックする

●クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。

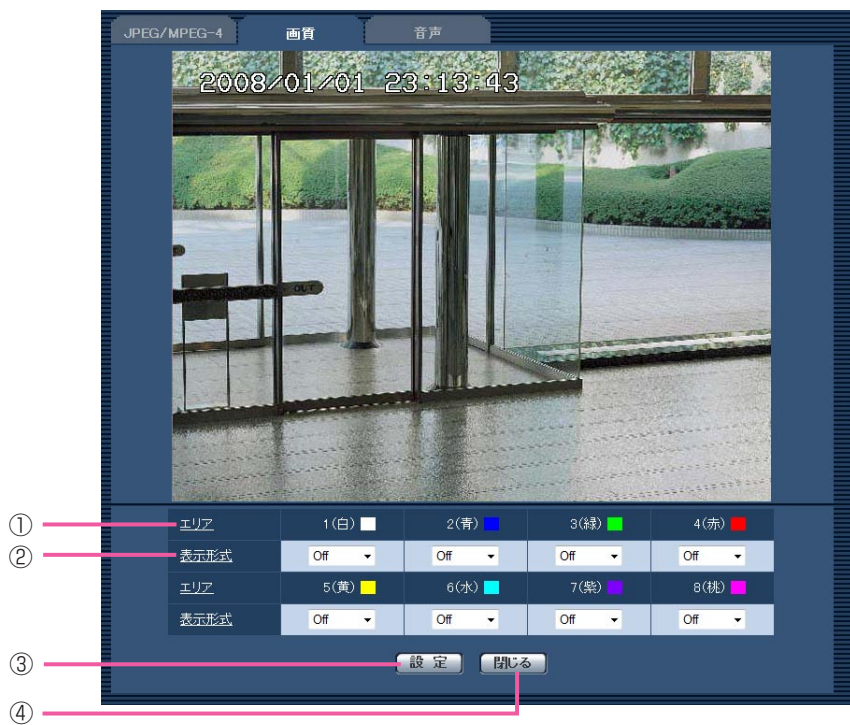
**4** マスクを解除するときは、マスクエリアに設定した枠を再度クリックする

**5 マスクエリアを設定したら、［終了］ボタンをクリックする**

- ［画質］タブの画像上から枠が消えます。

**メモ**

- 設定したマスクエリアを解除する場合は、［リセット］ボタンをクリックします。

## プライバシーゾーンを設定する（プライバシーゾーン画面）

［画質］タブで、「プライバシーゾーン」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします（→25ページ）。
ここでは、撮影場所（画面）の中に写したくない部分がある場合は、その部分（ プライバシーゾーン）だけを表示しないように設定します。プライバシーゾーンは最大8か所まで設定できます。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［エリア］ | | 画像内でプライバシーゾーンを選択すると、エリア1から順に設定します。<br>設定は画像上のエリア設定したい範囲をマウスでドラッグします。各エリアは重なるように設定することもできます。 |
| ② | ［表示形式］ | | プライバシーゾーンの表示形式を設定します。 |
| | | 塗潰し | グレーで表示します。 |
| | | モザイク | モザイクで表示します。 |
| | | Off | 表示しません。 |
| ③ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |
| ④ | ［閉じる］ボタン | | プライバシーゾーン画面を閉じます。 |

**メモ**

- プライバシーゾーンは、隠す対象よりも広めに設定してください。

# 音声を設定する［音声］

カメラページの［音声］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、音声に関する情報を設定します。

（下線部は初期設定です）　　(1/3)

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［音声モード］ | 本機とPC間で音声データの送信／受信を行うときの通信モードを設定します。<br>**メモ**<br>●MPEG-4画像の「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されている場合は、MPEG-4画像を見ながら送話操作を行うことはできません。この場合は、ライブ画面で［JPEG］ボタンをクリックし、JPEG配信に切り換えると送話操作ができるようになります。 |
| | Off | 本機とPC間で音声データの送信／受信を行いません。したがって、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。 |
| | 受話 | 本機からの音声データをPCで受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。 |
| | 送話 | PCからの音声データを本機に送信します。本機に接続したスピーカーから音声を流すことができます。 |
| | 双方向（半二重） | 受話・送話の両方ができます（トランシーバー方式）。ただし、音声の送信／受信を同時に行うことはできません。 |
| | 双方向（全二重） | 受話・送話の両方を、同時に行うことができます。<br>**メモ**<br>●使用状態によっては、ハウリングが発生する場合があります。その際は、PCから出力される音がPCのマイクに入らないようにしてください。 |
| ② | ［ビットレート］ | 音声を送信／受信するときのビットレートを設定します。 |
| | 16 kbps | 「配信量制御（ビットレート）」（→58ページ）を小さい値で使用する場合に、JPEG画像更新やMPEG-4画像配信を優先するときに設定します。 |
| | 32 kbps | ビットレートを「32 kbps」に設定します。 |

（下線部は初期設定です）

(2/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ③ | ［受話音量（PCで聞く）］ | | 本機からの音声をPCで聞くときの音量を設定します。 |
| | | 強 | 音量を強に設定します。 |
| | | 中 | 音量を中に設定します。 |
| | | 弱 | 音量を弱に設定します。 |
| ④ | ［受話間隔（PCで聞く）］ | | 音声の受話間隔を以下から選択します。<br>メモ<br>●受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。 |
| | | 40 msec | 20 msec／40 msec／80 msec／160 msec |
| ⑤ | ［送話音量（PCから話す）］ | | PCからの音声を本機から流すときの音量を設定します。 |
| | | 強 | 音量を強に設定します。 |
| | | 中 | 音量を中に設定します。 |
| | | 弱 | 音量を弱に設定します。 |
| ⑥ | ［送話間隔（PCから話す）］ | | 音声の送話間隔を以下から選択します。<br>メモ<br>●送話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。<br>●カメラに複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声が途切れたり、雑音が出力されたりすることがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音をおさえることができます。<br>●お使いのネットワーク環境および設定によっては、音声が出力されない場合があります。 |
| | | 640 msec | 160 msec／320 msec／640 msec／1 280 msec |
| ⑦ | ［送話先ポート番号（PCから話す）］ | | 送話先ポート番号（PCから本機へ音声を送信するときの本機側のポート番号）を入力します。<br>メモ<br>●送話先ポート番号は、MPEG-4画像の「配信方式」を「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」に設定している場合に使用されます。「MPEG-4配信」が「Off」または「配信方式」が「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」、「マルチキャスト」に設定（→23ページ）されている場合は、設定できません。 |
| | | 34004 | 設定可能範囲：1 024～50 000（偶数のみ） |

(下線部は初期設定です)

(3/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑧ | ［音声許可レベル］ | | 音声の送信／受信を許可するアクセスレベルを設定します。アクセスレベルについては、49ページをお読みください。 |
| | | 1.管理者のみ | 管理者のみ許可します。 |
| | | 2.カメラ制御以上 | カメラ制御以上を許可します。 |
| | | 3.すべて許可 | すべてのアクセスレベルに許可します。 |
| ⑨ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

**メモ**

- 音声と画像は同期しません。そのため、若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。

# マルチスクリーンの設定

マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンに表示するカメラを設定します。

**メモ**

- マルチスクリーンで表示可能なカメラは以下になります。(2008年4月現在)
  DG-NF282シリーズ、DG-NS202シリーズ、RP(DG)-NP244シリーズ、RP(DG)-NP1000シリーズ、WV-NW474S、WV-NP472、WV-NS320、DG-NS950、DG-NW960、DG-NW484S

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | [IPアドレス] | マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。<br>4台を1グループとして、最大16台まで入力できます。<br>表示するカメラのHTTPポート番号の設定を変更している場合は、「IPアドレス:ポート番号」を入力してください。<br>入力例:IPv6アドレス例:[2001:db8:0:0:0:0:0:1]:8080<br>IPv4アドレス例:192.168.0.10:8080<br>入力可能文字数:1~128文字<br>**メモ**<br>●ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。(→57ページ)<br>●Windows XP SP2をご使用の場合は、IPv4アドレスを入力してください。IPv6アドレスを入力すると、カメラ画像が正常に表示されないことがあります。 |
| ② | [カメラタイトル] | カメラの名称を入力します。入力した名称をマルチスクリーン画面に表示します。入力可能文字数:0~20文字 |
| ③ | [設定] ボタン | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

# アラームの設定

アラームページでは、アラーム動作、アラーム画像、アラームを検出するエリアの設定およびアラーム通知を設定します。アラームページは、［アラーム］タブ、［VMDエリア］タブ、［通知］タブで構成されています。
端子アラームは、外部I/O端子（→取扱説明書 『基本編』）を表します。

## アラーム動作を設定する［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、アラーム動作を設定します。
アラーム画像、アラーム出力端子の設定については、37、39ページをお読みください。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［端子アラーム］ | | 端子アラームの入力を受け付けるかどうかを設定します。 |
| | | On | 端子アラーム入力を受け付けます。 |
| | | Off | 端子アラーム入力を受け付けません。 |
| ② | ［VMDアラーム］ | | 「VMD設定へ」をクリックすると、［VMDエリア］タブを表示します（→41ページ）。 |
| ③ | ［コマンドアラーム］ | | コマンドアラームを受け付けるかどうかを設定します。コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。 |
| | | On | コマンドアラームを受け付けます。複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。 |
| | | Off | コマンドアラームを受け付けません。 |
| ④ | ［受信ポート番号］ | | コマンドアラームを受信するポート番号を入力します。 |
| | | 8181 | 設定可能範囲：1〜65535 |
| ⑤ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

# アラーム画像を設定する［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像を設定します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です（→設定メニューの表示・操作：54ページ）。
アラーム動作、アラーム出力端子に関する設定については、36、39ページをお読みください。

**重要**
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- ［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、アラームを検出しても画像をFTPサーバーへ送信することはできません（→12ページ）。
- 画像更新速度の設定が高く、複数のユーザーが画像受信している場合、通知や保存のタイミングがずれることがあります。その場合は、画像更新速度の設定を低くしてください。

（下線部は初期設定です）

（1/2）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［FTP設定へ］ | | クリックするとサーバーページの［FTP］タブを表示します（→54ページ）。 |
| ② | ［アラーム画像送信］ | | アラームを検出したときに、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかを設定します。 |
| | | On | FTPサーバーへアラーム画像を送信します。 |
| | | Off | FTPサーバーへアラーム画像を送信しません。 |
| ③ | ［ディレクトリー名］ | | 画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。<br>例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。<br>入力可能文字数：1〜256文字 |
| ④ | ［ファイル名］ | | FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。<br>ファイル名は、「入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号」の形式になります。<br>入力可能文字数：1〜32文字 |

# アラームの設定（つづき）

(下線部は初期設定です)

(2/2)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑤ | ［ポストアラーム］ | | アラーム画像の更新速度、送信する画像枚数を以下から選択します。 |
| | | 画像更新速度<br>1 fps | アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。<br>0.1 fps／0.2 fps／0.33 fps／0.5 fps／1 fps |
| | | 画像枚数<br>100枚 | 送信する画像の枚数を以下から選択します。<br>1枚／2枚／3枚／4枚／5枚／6枚／7枚／8枚／9枚／10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1000枚／2000枚／3000枚 |
| | | 録画時間 | 設定した「画像更新速度」と「画像枚数」で保存するときの所要時間の目安を表示します。 |
| ⑥ | ［解像度］ | | アラーム画像の解像度を選択します。FTPサーバーへ送信する画像およびアラーム通知メールに添付する画像の解像度をQVGA／VGA／1 280×960のいずれかに設定します。 |
| | | VGA | QVGA／VGA／1 280×960 |
| ⑦ | ［アラーム時の画質制御］ | | アラーム発生時の画質を変更することができます。 |
| | | On | アラーム発生時に、「アラーム時の画質」で配信します。 |
| | | Off | アラーム発生時に画質を変更しません。 |
| ⑧ | ［アラーム時の画質］ | | アラーム発生時の画質を設定します。画質は、以下から選択します。 |
| | | 5 標準 | 0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質 |
| ⑨ | ［設定］ボタン | | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

# アラーム出力端子を設定する［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
アラーム動作、アラーム画像に関する設定については、36、37ページをお読みください。

(下線部は初期設定です)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［アラーム連動出力］ | | アラームを検出したときに、アラーム出力端子に出力するかどうかを設定します。 |
| | | On | アラーム出力端子に出力します。 |
| | | Off | アラーム出力端子に出力しません。 |
| ② | ［アラーム出力形式］ | | アラームを検出したときのアラーム出力端子の動作を、ラッチ／パルスのどちらかに設定します。 |
| | | ラッチ | アラームを検出したときに、ライブ画ページの［アラーム発生通知］ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。 |
| | | パルス | アラームを検出したときに、「アラーム出力時間」で設定した秒時間、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。 |
| ③ | ［アラーム時の出力］ | | アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態を設定します。<br>**メモ**<br>● 「Open」に設定し、本機の電源を入れた場合は、約20秒間アラームを出力します。 |
| | | Open | アラーム出力時の端子をOpen状態にします（通常はClose）。 |
| | | Close | アラーム出力時の端子をClose状態にします。 |
| ④ | ［アラーム出力時間］ | | 「アラーム出力形式」で「パルス」を選択した場合は、アラーム出力端子からアラームを出力する時間を入力します。 |
| | | 1秒 | 1～120秒 |
| ⑤ | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

# AUX名称を変更する［アラーム］

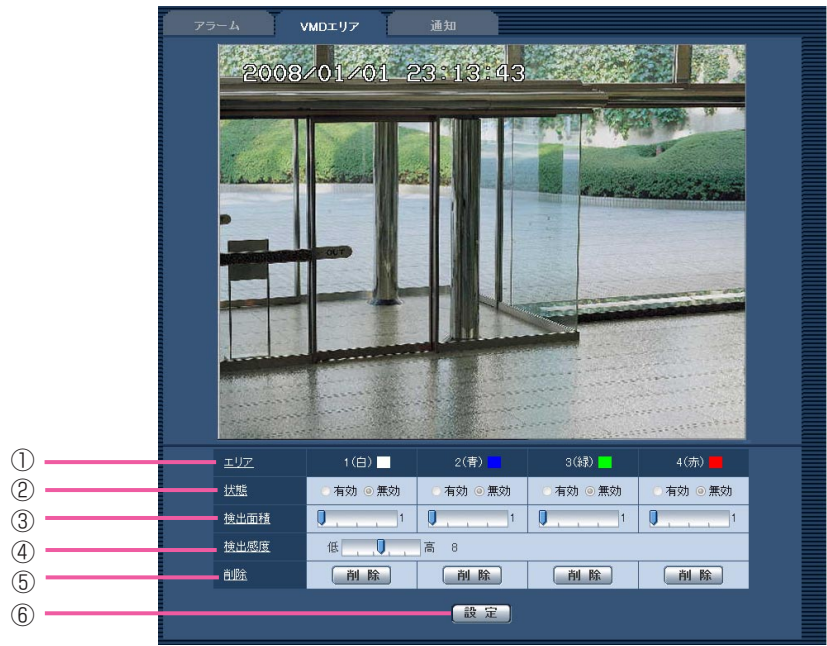
アラームページの［アラーム］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、ライブ画ページの「AUX」の名称を変更します。

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［AUX（10文字まで）］<br>AUX | ライブ画ページの「AUX」の名称を入力します（10文字まで）。 |
| ② | ［Open（5文字まで）］<br>Open | ライブ画ページの「AUX」ボタンの「Open」の名称を入力します（5文字まで）。 |
| ③ | ［Close（5文字まで）］<br>Close | ライブ画ページの「AUX」ボタンの「Close」の名称を入力します（5文字まで）。 |
| ④ | ［設定］ボタン | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

**メモ**

- iモード端末では、変更した名称は反映されません。
- AUXとは操作者がライブ画ページから任意に操作（Open／Close)できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機と接続することで遠隔地から操作することが可能です。

# VMDを設定する［VMDエリア］

アラームページの［VMDエリア］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、モーションディテクター機能を使用して被写体の動きを検出するときのエリアを設定します。
エリアは、4か所まで設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラームが発生します。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［エリア］ | | 画像内でVMDエリアを選択すると、エリア1から順に設定されます。 |
| ② | ［状態］ | | VMDを使用するかどうかを有効／無効で設定します。 |
| | | 有効 | VMDを行います。 |
| | | 無効 | VMDを行いません。 |
| ③ | ［検出面積］ | | VMDエリア内で被写体の動きを検知する面積を、スライダーバーで設定します。設定値が小さいほど、小さな被写体の動きでも検知します。現在の設定値（1～10）はスライダーバーの右に表示されます。 |
| | | 1 | 1～10 |
| ④ | ［検出感度］ | | エリア内の動きを検出するときの感度を、スライダーバーで設定します。エリア1～4で共通の設定となります。設定値が大きいほど、動きを感知しやすくなります。現在の設定値（1～15）はスライダーバーの右に表示されます。 |
| | | 8 | 1（低）～15（高） |
| ⑤ | ［削除］ボタン | | 削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリアの枠を削除します。 |
| ⑥ | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

メモ

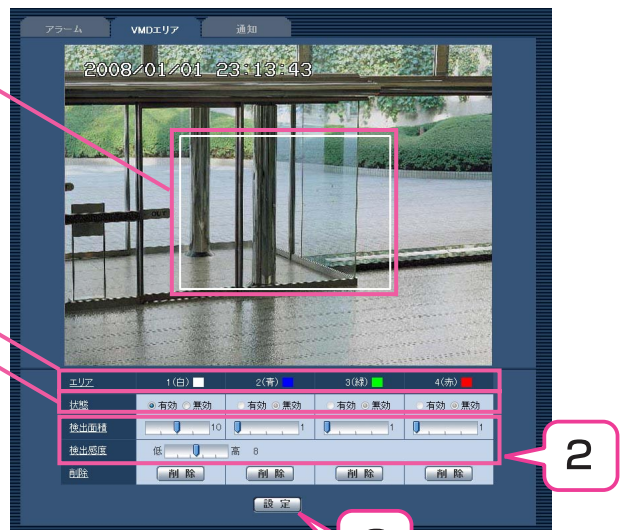
- モーションディテクター機能を使用して被写体の動きを検出したときに、確認用として［アラーム発生通知］ボタンを表示（→取扱説明書 『操作編』）します。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けたとき、およびコマンドアラームを受け付けたときも、［アラーム発生通知］ボタンを表示します。
- 基本ページの［基本］タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定（→10ページ）している場合でも、ご利用のネットワーク環境によっては、通知が遅れることがあります。

## VMDエリアを設定する

**1 画像上でマウスをドラッグして、VMDエリアを指定する**

(a) VMDエリアが「1（白）」に設定され、枠を表示します。
(b) VMDエリア番号は1番から順に設定され、エリア番号の横の色表示は、対応する枠色を表しています。
(c) VMDエリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。

**2 ［検出感度］、［検出面積］をスライダーバーで設定する**

- ［検出感度］の設定範囲は、1（低）～15（高）です。
- ［検出面積］の設定範囲は1～10です。
- 検出感度はすべてのエリアで共通です。
- 「検出面積」に、表示されているエリア、検出感度での動き検出状況が表示されます。
  必要に応じてエリアおよび検出面積、検出感度を変更します。

**3 ［設定］ボタンをクリックする**

- 設定内容が本機に反映されます。

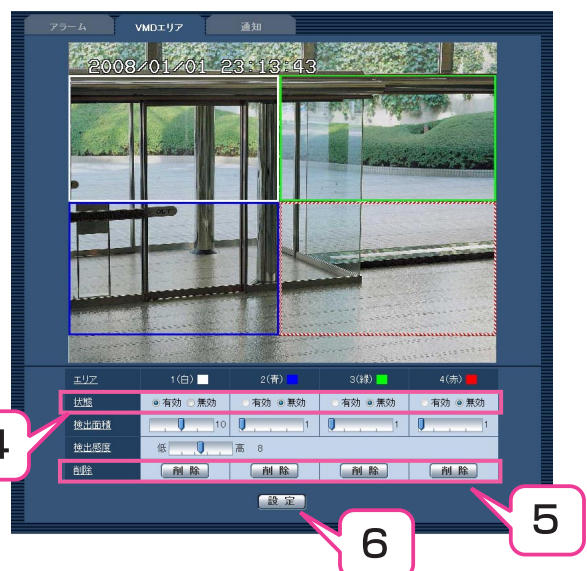
**4 VMDエリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、［設定］ボタンをクリックする**

- 無効になった枠色が点線になります。
- 無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

**5 VMDエリアを削除する場合は、削除するエリアの［削除］ボタンをクリックする**

- 削除したエリアの枠が消去されます。

**6 ［設定］ボタンをクリックする**

- 設定内容が本機に反映されます。

# メール通知を設定する［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、アラーム検出およびSDメモリーカードを診断したときのメール通知の方法を設定します。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です（→53ページ）。

## ■メール通知設定

（下線部は初期設定です）　　（1/2）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［メール設定へ］ | | クリックすると、サーバーページの［メール］タブを表示します（→53ページ）。 |
| ② | ［メール通知］ | | アラーム検出およびSDメモリーカードを診断したときにメール通知をするかどうかを設定します。 |
| | | On | メール通知します。 |
| | | Off | メール通知しません。 |
| ③ | ［画像添付］ | | アラーム検出によるメール送信時に画像を添付するかどうかを設定します。<br>**メモ**<br>●［アラーム］タブの「解像度」（→38ページ）で設定した解像度の画像を添付して通知します。 |
| | | On | メールに画像を添付します。 |
| | | Off | メールに画像を添付しません。 |
| ④ | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

**■メール通知先設定**

（2/2）

<table>
<tr><th>項番</th><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">⑤</td><td colspan="2">［メール通知先1,2,3,4］</td><td>通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>アラーム</td><td>「アラーム」欄にチェックを入れると、アラームを検出したときにメール通知します。</td></tr>
<tr><td>診断</td><td>「診断」欄にチェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知／空き容量不足／認識エラーをメール通知します。</td></tr>
<tr><td>通知先メールアドレス</td><td>通知先のメールアドレスを入力します。<br>入力可能文字数：3～128文字</td></tr>
<tr><td>［削除］ボタン</td><td>設定したメールアドレスを削除します。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td colspan="2">［メール件名］</td><td>アラーム検出によるメール通知の件名を入力します。<br>入力可能文字数：0～50文字</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td colspan="2">［メール本文］</td><td>アラーム検出によるメール通知の本文を入力します。<br>入力可能文字数：0～200文字<br><br>メモ<br>●SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードフル」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは「SDメモリーカード認識エラー」というメール本文で送信します。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td colspan="2">［設定］ボタン</td><td>設定／変更した場合は、必ずクリックします。</td></tr>
</table>

# 独自アラーム通知を設定する［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、独自アラーム通知に関する設定をします。

**■独自アラーム通知**

（下線部は初期設定です）

（1/2）

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［独自アラーム通知］ | アラーム検出時の通知、およびSDメモリーカードに関する情報の通知をするかどうかを設定します。<br>**メモ**<br>●独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先1」から順に通知します（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。 |
| | On | 独自アラーム通知をします。 |
| | Off | 独自アラーム通知をしません。 |
| ② | ［通知先ポート番号］ | 独自アラーム通知先の受信ポート番号を入力します。 |
| | 1818 | 入力可能範囲：1～65 535 |
| ③ | ［リトライ回数］ | 独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を選択します。 |
| | 2 | 0～30 |
| ④ | ［設定］ボタン | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

（2/2）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑤ | ［独自アラーム通知先1～8］ | | 独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。通知先は8件まで設定できます。<br><br>**重要**<br>●通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しないと、独自アラーム通知が遅延することがあります。<br>●通知先はホスト名では設定できません。必ずIPv4アドレスまたはIPv6アドレスで指定してください。 |
| | | アラーム | 「アラーム」欄にチェックを入れると、アラーム発生時に設定した通知先に通知します。 |
| | | 診断 | 「診断」欄にチェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知／空き容量不足／認識エラーおよび本機の点検時期を、設定した通知先に通知します。 |
| | | 通知先IPアドレス | 通知先のIPアドレスを入力します。 |
| | | ［削除］ボタン | 設定した通知先を削除します。 |
| ⑥ | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

# 認証設定

ユーザー管理ページでは、PCおよびiモード端末から本機にアクセスできるユーザーまたはPC（IPアドレス）を制限する認証や、優先的に画像配信を行う機器を設定します。
ユーザー管理ページは、［ユーザー認証］タブ、［ホスト認証］タブ、［システム］タブで構成されています。

## ユーザー認証を設定する［ユーザー認証］

ユーザー管理ページの［ユーザー認証］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、PCおよびiモード端末から本機にアクセスする際の、ユーザー認証を制限する設定をします。最大20ユーザーまで登録できます。

**メモ**
- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、本機にしばらくアクセスできなくなります。

（下線部は初期設定です）

（1/2）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［ユーザー認証］ | | ユーザー認証をするかどうかを設定します。 |
| | | On | ユーザー認証します。 |
| | | Off | ユーザー認証しません。 |
| ② | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |
| ③ | ［ユーザー名］ | | ユーザー名を入力します。<br>入力可能文字：1～32文字 |
| ④ | ［パスワード］／<br>［パスワード確認］ | | パスワードを入力します。<br>入力可能文字：4～32文字<br><br>**メモ**<br>●登録済みのユーザー名を入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ユーザー情報を上書きします。 |

（下線部は初期設定です）

（2/2）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑤ | ［アクセスレベル］ | | アクセスレベルを設定します。<br>**重要**<br>●アクセスレベル「1.管理者」のユーザーをすべて削除すると、設定ができなくなります。 |
| | | 1.管理者 | すべての機能を使用できる管理者としてユーザー登録します。<br>管理者は各種機能設定および操作が可能です。 |
| | | 2.カメラ制御 | 画像表示、本機の操作のみができるユーザーとして登録します。 |
| | | 3.ライブ画表示 | 画像表示のみができるユーザーとして登録します。 |
| ⑥ | ［登録］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |
| ⑦ | ［ユーザー確認］ | | ［▼］をクリックすると、登録したユーザーを表示します。ユーザーの表示形式は、「登録したユーザー名［アクセスレベル］」です。 |
| | | ［削除］ボタン | 表示したユーザーを削除します。 |

# ホスト認証を設定する［ホスト認証］

ユーザー管理ページの［ホスト認証］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限するホスト認証を設定します。

(下線部は初期設定です)

<table>
<tr><th>項番</th><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">①</td><td colspan="2">[ホスト認証]</td><td>ホスト認証をするかどうかを設定します。<br><br>**重要**<br>●ホスト認証を設定する前に、アクセスを許可するPCのIPアドレスとアクセスレベルを登録してください。IPアドレスを登録をする前に「ホスト認証」を「On」に設定すると、本機へアクセスできなくなります。</td></tr>
<tr><td></td><td>On</td><td>ホスト認証します。</td></tr>
<tr><td></td><td><u>Off</u></td><td>ホスト認証しません。</td></tr>
<tr><td>②</td><td colspan="2">[設定] ボタン</td><td>設定／変更した場合は、必ずクリックします。</td></tr>
<tr><td>③</td><td colspan="2">[IPアドレス]</td><td>本機へのアクセスを許可するIPアドレスを入力します。ホスト名の指定はできません。<br><br>**メモ**<br>●「IPアドレス/サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。<br>例えば「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、192.168.0.0.～192.168.0.255のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機にアクセスできます。<br>●登録済みのIPアドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ホスト情報を上書きします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">④</td><td colspan="2">[アクセスレベル]</td><td>アクセスレベルを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>1.管理者</td><td>すべての機能を使用できるPCとしてIPアドレスを登録します。</td></tr>
<tr><td></td><td>2.カメラ制御</td><td>画像表示、本機の操作のみができるPCとしてIPアドレスを登録します。</td></tr>
<tr><td></td><td><u>3.ライブ画表示</u></td><td>画像表示のみができるPCとしてIPアドレスを登録します。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td colspan="2">[登録] ボタン</td><td>設定／変更した場合は、必ずクリックします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑥</td><td colspan="2">[ホスト認証]</td><td>[▼] をクリックすると、登録しているIPアドレスを表示します。IPアドレスの表示形式は、「登録したIPアドレス [アクセスレベル]」です。</td></tr>
<tr><td></td><td>[削除] ボタン</td><td>表示したIPアドレスを削除します。</td></tr>
</table>

# 優先ストリームを設定する［システム］

ユーザー管理ページの［システム］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、複数のユーザーがアクセスした場合でも画像更新速度を下げることなく、優先的にストリーム配信を行う配信先などの設定を行います。

(下線部は初期設定です)　　(1/2)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［優先ストリーム］ | | 優先ストリーム配信機能を使用するかどうかを設定します。<br>**メモ**<br>●優先ストリーム配信機能を「On」に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。 |
| | | On | 優先ストリーム配信機能を使用します。 |
| | | Off | 優先ストリーム配信機能を使用しません。 |
| ② | ［送信先IPアドレス（IPv4)］ | | 送信先のIPv4アドレスを入力します。 |
| ③ | ［送信先IPアドレス（IPv6)］ | | 送信先のIPv6アドレスを入力します。 |
| ④ | ［ストリーム種別］ | | JPEG／MPEG-4のどちらかを選択します。 |
| | | MPEG-4 | MPEG-4画像を配信します。 |
| | | JPEG | JPEG画像を配信します。 |

(下線部は初期設定です)　(2/2)

<table>
<tr><th>項番</th><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">⑤</td><td colspan="2">[画像更新速度]</td><td>画像を更新する速度を以下から選択します。「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。<br><br>**メモ**<br>● 「MPEG-4配信」を「ON」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>1 fps</td><td>0.1 fps／0.2 fps／0.33 fps／0.5 fps／1 fps／2 fps／3 fps／5 fps／6 fps *／10 fps *／15 fps *／30 fps *</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑥</td><td colspan="2">[解像度]</td><td>画像の解像度をQVGA／VGA／1 280×960のいずれかに設定します。<br>「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。</td></tr>
<tr><td></td><td>VGA</td><td>QVGA／VGA／1 280×960</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td colspan="2">[設定] ボタン</td><td>設定／変更した場合は、必ずクリックします。</td></tr>
</table>

# サーバーの設定

サーバーページでは、メールサーバー、FTPサーバー、NTPサーバーを設定します。
サーバーページは、［メール］タブ、［FTP］タブ、［NTP］タブで構成されています。

## メールサーバーを設定する［メール］

サーバーページの［メール］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）
ここでは、アラームメールを送信するメールサーバーを設定します。

（<u>下線部</u>は初期設定です）

（1/2）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［SMTPサーバーアドレス］ | | 電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。サーバーのホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSを設定する必要があります。（→57ページ）<br>入力可能文字数：1～128文字 |
| ② | ［SMTPポート番号］ | | メールを送信するポート番号を入力します。 |
| | | <u>25</u> | 入力可能範囲：1～65535 |
| ③ | ［POPサーバーアドレス］ | | 「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。サーバーのホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSを設定する必要があります。（→57ページ）<br>入力可能文字数：1～128文字 |
| ④ | ［認証方法］ | | 電子メールを送信するときの認証方法を設定します。<br>**メモ**<br>●認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 |
| | | <u>なし</u> | 認証をしません。 |
| | | POP before SMTP | 電子メールを送信する前に、POP認証をします。 |
| | | SMTP | SMTP認証をします。 |
| ⑤ | ［ユーザー名］ | | ログインするユーザー名を入力します。<br>入力可能文字数：1～32文字 |
| ⑥ | ［パスワード］ | | ログインするパスワードを入力します。<br>入力可能文字数：0～32文字 |

（2/2）

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ⑦ | ［送信者メールアドレス］ | 送信元のメールアドレスを入力します。入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。<br>入力可能文字数：3～128文字 |
| ⑧ | ［設定］ボタン | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

# FTPサーバーを設定する［FTP］

サーバーページの［FTP］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、画像を送信するFTPサーバーを設定します。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［FTPサーバーアドレス］ | 画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。FTPサーバーのホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSを設定する必要があります。（→57ページ）<br>入力可能文字数：1～128文字 |
| ② | ［ユーザー名］ | ログインするユーザー名を入力します。<br>入力可能文字数：1～32文字 |
| ③ | ［パスワード］ | ログインするパスワードを入力します。<br>入力可能文字数：0～32文字 |
| ④ | ［コントロールポート番号］ | FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。 |
| | 21 | 入力可能範囲：1～65535 |
| ⑤ | ［モード］ | 画像を送信するときのFTPの通信モードを設定します。<br>**メモ**<br>●通常はパッシブモードに設定してください。パッシブモードで接続できない場合は、アクティブモードに設定してください。 |
| | パッシブモード | FTPの通信モードをパッシブモードに設定します。 |
| | アクティブモード | FTPの通信モードをアクティブモードに設定します。 |
| ⑥ | ［設定］ボタン | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

# NTPサーバーを設定する［NTP］

サーバーページの［NTP］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する情報を設定します。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［時刻調整］ | 時刻を調整するときに、マニュアルセッティングを基準にするか、NTPサーバーに同期させるかを設定します。 |
| | マニュアルセッティング | 時刻調整は、基本ページの［基本］タブで行います。 |
| | NTPサーバーに同期 | 時刻調整は、NTPサーバーとの同期で行います。 |
| ② | ［NTPサーバーアドレス］※ | NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。NTPサーバーのホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSを設定する必要があります（→57ページ）。<br>入力可能文字数：1～128文字 |
| ③ | ［ポート番号］※ | NTPサーバーのポート番号を入力します。 |
| | 123 | 入力可能範囲：1～65 535 |
| ④ | ［時刻更新間隔］※ | NTPサーバーから時刻を取得する間隔を選択します。 |
| | 1 h | 1～24時間で1時間単位 |
| ⑤ | ［タイムゾーン］※<br>(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京 | ご使用の地域に応じたタイムゾーンを選択します。 |
| ⑥ | ［設定］ボタン | 設定／変更をした場合は、必ずクリックします。 |

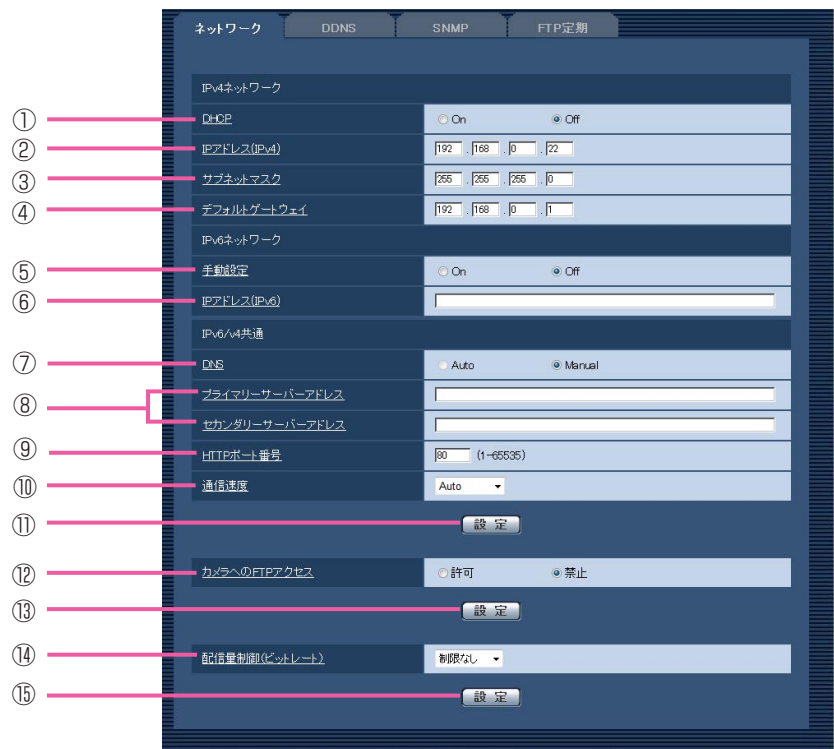
※「時刻調整」が「NTPサーバーに同期」の場合に設定します。

# ネットワークの設定

ネットワークページでは、本機のネットワーク機能を設定します。
ネットワークページは、［ネットワーク］タブ、［DDNS］タブ、［SNMP］タブ、［FTP定期］タブで構成されています。

## ネットワークを設定する［ネットワーク］

ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
本機のネットワークを設定するには、以下の情報をネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート番号
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

（下線部は初期設定です）

■IPv4ネットワーク　（1/3）

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［DHCP］ | DHCP機能を使用するかどうかを設定します。DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラがおなじIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。<br><br>**重要**<br>● DHCPが「On」でIPアドレスが取得できなかった場合、IPv6での通信ができなくなります。 |

(下線部は初期設定です)

■IPv4ネットワーク

(2/3)

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| | | |
| | On | 自動でIPv4アドレスを生成します。 |
| | Off | 手動でIPv4アドレスを設定します。 |
| ② | [IPv4アドレス(IPv4)]<br>192.168.0.10 | DHCP機能を使用しない場合は、本機のIPアドレスを入力します。PCおよび他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。 |
| ③ | [サブネットマスク]<br>255.255.255.0 | DHCP機能を使用しない場合は、本機のサブネットマスクを入力します。 |
| ④ | [デフォルトゲートウェイ]<br>192.168.0.1 | DHCP機能を使用しない場合は、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。 |

■IPv6ネットワーク

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ⑤ | [手動設定] | IPv6アドレスを、手動で設定するかどうかを設定します。 |
| | On | 手動でIPv6アドレスを設定します。 |
| | Off | 手動でIPv6アドレスを設定しません。 |
| ⑥ | [IPアドレス(IPv6)] | 手動設定を「On」に設定した場合は、本機のIPv6アドレスを手動で入力します。PCおよび他のネットワークカメラのアドレスと重複しないように入力してください。 |

■IPv6/v4共通

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ⑦ | [DNS] | DNSサーバーのアドレスを自動で取得するか、または手動で入力するかを設定します。 |
| | Auto | DHCP機能を使用する場合は、自動的にDNSサーバーアドレスを取得します。 |
| | Manual | DHCP機能を使用しない場合は、DNSサーバーのアドレスを入力します。「プライマリーサーバーアドレス」および「セカンダリーサーバーアドレス」を入力する必要があります。(DHCP機能を使用する場合も入力できます) |
| ⑧ | [プライマリーサーバーアドレス]、[セカンダリーサーバーアドレス] | 「DNS」を「Manual」で設定した場合は、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。 |
| ⑨ | [HTTPポート番号] | HTTPポート番号を個別に入力します。<br>**メモ**<br>●HTTPポート番号は本機で使用する20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、995、10 669、10 670以外のポート番号を使用してください。 |
| | 80 | 入力可能範囲：1～65 535 |

(下線部は初期設定です)

(3/3)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑩ | [通信速度] | | 通信速度を選択します。<br>**メモ**<br>●通常は、初期設定の「Auto」を選択することをお勧めします。 |
| | | Auto | 自動設定します。 |
| | | 100 M-Full | 100 Mbps 全二重に設定します。 |
| | | 100 M-Half | 100 Mbps 半二重に設定します。 |
| | | 10 M-Full | 10 Mbps 全二重に設定します。 |
| | | 10 M-Half | 10 Mbps 半二重に設定します。 |
| ⑪ | [設定] ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

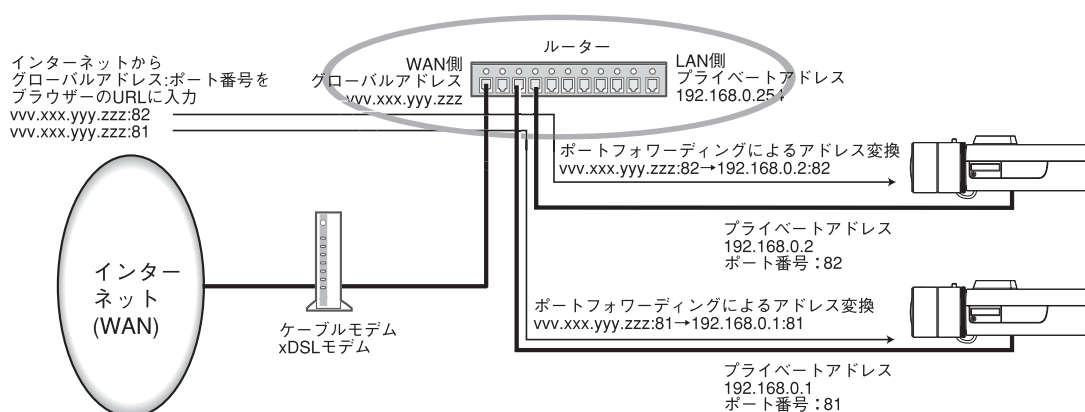
■カメラへのFTPアクセス

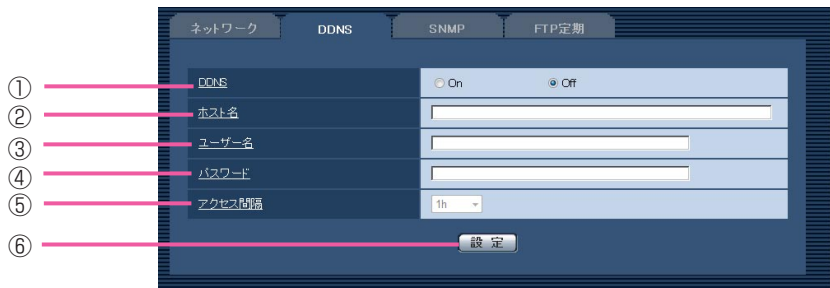
| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑫ | [カメラへのFTPアクセス] | | FTPクライアントからカメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを設定します。 |
| | | 許可 | FTPクライアントからカメラへのFTPアクセスを許可します。 |
| | | 禁止 | FTPクライアントからカメラへのFTPアクセスを禁止します。 |
| ⑬ | [設定] ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

■配信量制御（ビットレート）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑭ | [配信量制御（ビットレート)] | | データの配信量を以下から選択します。<br>**メモ**<br>●「64 kbps」に設定した場合は、[音声] タブの「音声モード」を「Off」に設定してください（→32ページ)。<br>●JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信とを同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。<br>●配信量を低く設定した場合、使用環境によっては、ワンショット機能が動作しない場合があります。その場合は、JPEG設定の「解像度」を「QVGA」に設定するか、または「画質」を低く設定してください。 |
| | | 制限なし | 制限なし／64 kbps／128 kbps／256 kbps／512 kbps／1024 kbps／2048 kbps／4096 kbps |
| ⑮ | [設定] ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

メモ

- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、静的IPマスカレードやNATアドレス変換などがあります。これらの機能はルーターに設定します。
- ルーターに本機を接続してインターネット経由で本機と接続するには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ご使用になるルーターの取扱説明書をお読みください。

# DDNSを設定する［DDNS］

ネットワークページの［DDNS］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、DDNS機能を設定します。
IPv4で通信を行う場合のみ、グローバルIPアドレスをDHCPで取得し、本機にインターネット経由してアクセスするには、DDNS機能を設定する必要があります。
DDNS機能を使用すると、「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net 」というアドレスを使用してアクセスします。DDNSのサービスを受けるためには、専用のサーバーに登録してください。専用サーバーへの登録方法については、ソフトウェア付属のReadmeをお読みください。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［DDNS］ | | DDNS機能を使用するかどうかを設定します。 |
| | | On | DDNS機能を使用します。 |
| | | Off | DDNS機能を使用しません。 |
| ② | ［ホスト名］ | | 使用するホスト名を入力します。<br>入力可能文字数：1～64文字 |
| ③ | ［ユーザー名］ | | ログインするユーザー名を入力します。<br>入力可能文字数：1～32文字 |
| ④ | ［パスワード］ | | ログインするパスワードを入力します。<br>入力可能文字数：0～32文字 |
| ⑤ | ［アクセス間隔］ | | DDNSサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。 |
| | | 1 h | 1 min／10 min／30 min／1 h／6 h／24 h |
| ⑥ | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

# SNMPを設定する［SNMP］

ネットワークページの［SNMP］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、SNMP機能を設定します。
SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。
SNMP機能を使用するには、設定する内容をネットワーク管理者に確認してください。

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［コミュニティー名］ | 監視の対象となるコミュニティー名を入力します。<br>入力可能文字数：0〜32文字<br><br>**重要**<br>● コミュニティー名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。SNMP機能を使用するには、必ずコミュニティー名を入力してください。 |
| ② | ［機器名］ | SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。<br>入力可能文字数：0〜32文字 |
| ③ | ［機器の物理的位置］ | 本機を設置した場所を入力します。<br>入力可能文字数：0〜32文字 |
| ④ | ［連絡先］ | 管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。<br>入力可能文字数：0〜255文字 |
| ⑤ | ［設定］ボタン | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

# FTP定期送信を設定する［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、FTPサーバーへ画像を定期送信するための設定をします。
FTP定期送信するには、FTPサーバーを設定する必要があります（→54ページ）。
定期送信スケジュールの設定については、64ページをお読みください。

**重要**

- ご利用のネットワーク環境によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- 基本ページの［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合は、「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください（→12ページ）。
- FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に設定すると、アラーム画像送信を優先します。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

**メモ**

- 基本ページの［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」すると、FTP定期送信に失敗したときに、SDメモリーカードへ画像を自動保存します（→12ページ）。

■FTP定期送信

（下線部は初期設定です）　　（1/2）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | ［FTP設定へ］ | | クリックすると、サーバー設定ページの［FTP］タブを表示します（→54ページ）。 |
| ② | ［定期送信］ | | 画像をFTPサーバーへ定期送信するかどうかを設定します。「On」に設定した場合は、FTPサーバーを設定してください（→54ページ）。 |
| | | On | 画像をFTPサーバーへ定期送信します。 |
| | | Off | 画像をFTPサーバーへ定期送信しません。 |

**■FTP定期送信**

（下線部は初期設定です） (2/2)

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ③ | ［ディレクトリー名］ | | 送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定するには、「/img」と入力します。<br>入力可能文字数：1～256文字 |
| ④ | ［ファイル名］ | | 送信するファイル名を入力し、FTPサーバーに保存するファイル名の形式を設定します。<br>入力可能文字数：1～32文字 |
| | | ファイル名＋日時 | ファイル名の形式を「入力したファイル名＋送信日時（年月日時分秒）＋00.jpg」とします。 |
| | | ファイル名を固定 | 入力したファイル名をそのまま使用します。送信したファイルは、常に同じ名称のファイルとして上書き保存します。 |
| ⑤ | ［送信間隔］ | | 送信間隔を以下から選択します。 |
| | | 1 s | 1 s／2 s／3 s／4 s／5 s／6 s／10 s／15 s／20 s／30 s／1 min／2 min／3 min／4 min／5 min／6 min／10 min／15 min／20 min／30 min／1 h／1.5 h／2 h／3 h／4 h／6 h／12 h／24 h |
| ⑥ | ［解像度］ | | 送信する画像の解像度をQVGA／VGA／1 280×960のいずれかに設定します。 |
| | | VGA | QVGA／VGA／1 280×960 |
| ⑦ | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

**■スケジュール**

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ⑧ | ［スケジュール1,2,3］ | スケジュール1,2,3の曜日・時間をそれぞれ設定します。<br>月／火／水／木／金／土／日／24 h／00:00～00:00 |
| ⑨ | ［設定］ボタン | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

## FTP定期送信スケジュールを設定する

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、FTPサーバーへ画像を定期送信するスケジュールを設定します。
定期送信の設定については、62ページをお読みください。

### スケジュールの設定方法

**1** **「スケジュール」で、スケジュールを適用する曜日にチェックマークを入れる**

**2** **時間を指定するには［▼］をクリックして時間を指定する**
●時間帯を指定しない場合は、「24 h」にチェックマークを入れます。

**3** **設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックする**
●画面下に設定した内容でグラフ表示します。

### スケジュールの削除方法

**1** **スケジュールを削除する曜日のチェックマークを外す**

**2** **設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックする**
●画面下に設定した内容でグラフ表示します。

# スケジュールの設定

スケジュールページでは、アラーム入力許可、VMD許可、画像公開許可のスケジュール設定をします。

## スケジュールを設定する［スケジュール］

スケジュールページの［スケジュール］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
スケジュールは、最大5個まで設定できます。

（下線部は初期設定です）

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ① | 動作モード | | スケジュールの動作を選択します。 |
| | | Off | スケジュール動作を行いません。 |
| | | アラーム入力許可 | スケジュール設定されている間、端子アラームのアラーム入力を許可します。 |
| | | VMD検出許可 | スケジュール設定されている間、VMDを許可します。 |
| | | 画像公開許可 | スケジュール設定されている間は、［ユーザー認証］タブ（→49ページ）で設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を許可します。 |
| ② | ［スケジュール］ | | スケジュールの曜日・時間をそれぞれ設定します。<br>月／火／水／木／金／土／日／24 h／00:00～00:00 |
| ③ | ［設定］ボタン | | 設定／変更した場合は、必ずクリックします。 |

メモ

- 「画像公開許可」でスケジュールを使用する場合は、［ユーザー認証］タブの「ユーザー認証」（→48ページ）を「On」に、［ホスト認証］タブの「ホスト認証」（→50ページ）を「Off」に設定してください。
- スケジュール1～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

## スケジュールの設定方法

**1** 「動作モード」で、スケジュールの動作を選択する

**2** 曜日を指定するには、曜日ボックス（月火水木金土日）にチェックマークを入れる

**3** 時間を指定するには、［▼］をクリックして時間を指定する

**4** 時間帯を指定しない場合は、「24 h」にチェックマークを入れる

**5** 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックする
- 画面下に設定した内容でグラフ表示します。

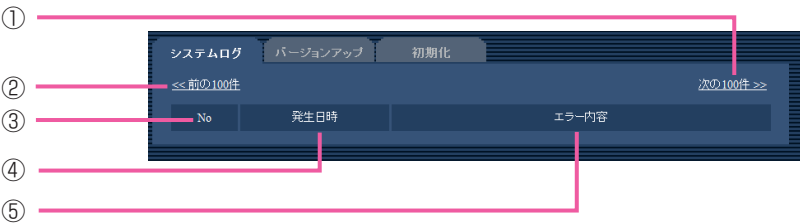
## スケジュールの削除方法

- 「動作モード」で「OFF」を選択する。
- ［設定］ボタンをクリックする。

# メンテナンス

メンテナンスページでは、システムログの確認、ソフトウェアのバージョンアップ、設定の初期化、および本機の再起動を行います。
メンテナンスページは、［システムログ］タブ、［バージョンアップ］タブ、［初期化］タブで構成されています。

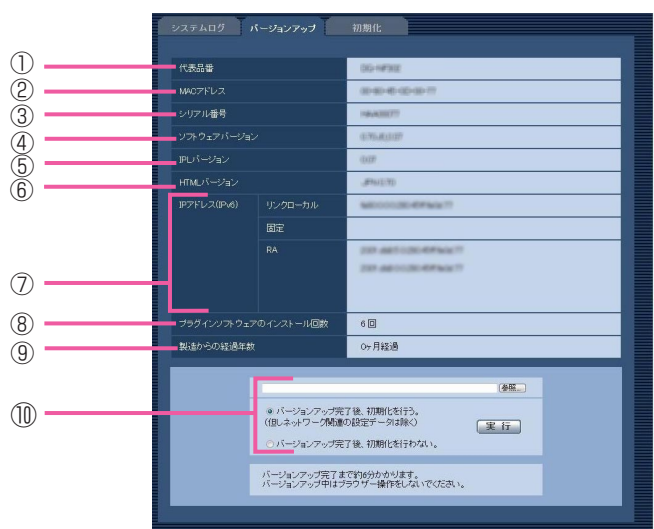
## システムログを確認する［システムログ］

メンテナンスページの［システムログ］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
システムログは100件ずつ表示します。保存するシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから順に上書きします。

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［次の100件>>］ボタン | 表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示します。 |
| ② | ［<<前の100件］ボタン | 表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示します。 |
| ③ | ［No］ | システムログの通し番号を表示します。 |
| ④ | ［発生日時］ | ログの発生日時を表示します。<br>**メモ**<br>●「時刻表示形式」「（→8ページ）を「Off」に設定している場合は、ログの発生日時を24時間形式で表示します。 |
| ⑤ | ［エラー内容］ | システムログの内容を表示します。各システムログの内容については、74ページをお読みください。 |

**メモ**

- 基本ページの［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定（→11ページ）した場合は、SDメモリーカード内に最大4 000件のシステムログを保存します。
- 「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存します。
- システムログをSDメモリーカードに保存している場合は、カメラの電源を切ってもログは残りますが、SDメモリーカードに保存しない場合は、カメラの電源を切るとログは残りません。

# ソフトウェアをバージョンアップする［バージョンアップ］

メンテナンスページの［バージョンアップ］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアをバージョンアップします。バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［代表品番］ | 本機の代表品番を表示します。 |
| ② | ［MACアドレス］ | 本機のMACアドレスを表示します。 |
| ③ | ［シリアル番号］ | 本機のシリアル番号を表示します。 |
| ④ | ［ソフトウェアバージョン］ | ソフトウェアのバージョンを表示します。 |
| ⑤ | ［IPLバージョン］ | IPL［起動プログラム］のバージョンを表示します。 |
| ⑥ | ［HTMLバージョン］ | 本機のHTMLバージョンを表示します。 |
| ⑦ | ［IPアドレス（IPv6）］ | IPアドレス（IPv6）を表示します。 |
| | リンクローカル | 本機のリンクローカルアドレスを表示します。 |
| | 固定 | 本機の固定アドレスを表示します。 |
| | RA | 本機のRAアドレスを表示します。 |
| ⑧ | ［プラグインソフトウェアのインストール回数］ | プラグインソフトウェアのインストール回数を表示します。 |
| ⑨ | ［製造からの経過年数］ | 製造からの経過年数を表示します。6年目および11年目以降はライブ画面の［経過年数警告表示］ボタンが点滅表示します。 |

| 項番 | 項目 | | 内容 |
|---|---|---|---|
| ⑩ | ［ファイル名］ | | バージョンアップするファイル名を入力します。［参照］ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログでファイルを選択します。 |
| | | ［参照］ボタン | ファイル選択ダイアログを表示します。 |
| | | ［バージョンアップ完了後、初期化を行う］ | バージョンアップ完了後、初期化する場合に、チェックを入れます。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化しません。 |
| | | ［バージョンアップ完了後、初期化を行わない］ | バージョンアップ完了後、初期化しない場合に、チェックを入れます。 |
| | | ［実行］ボタン | バージョンアップを実行します。 |

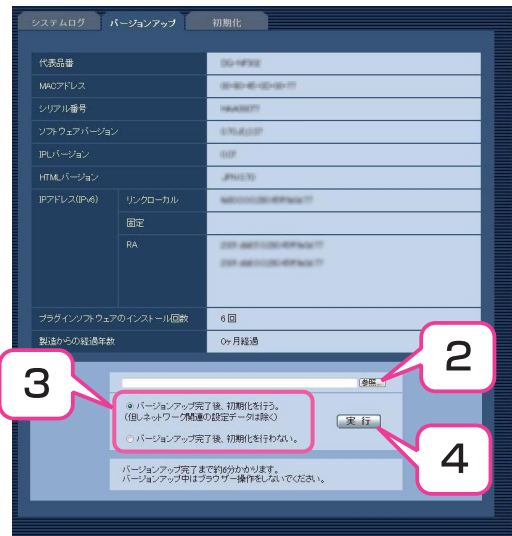
## ソフトウェアのバージョンアップ方法

**1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードする**

> **重要**
> ●保存ディレクトリーは、半角英数字で指定してください。

**2 ［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定する**

**3 ラジオボタンをクリックして、バージョンアップが完了したらデータを初期化するかどうかを選択する**

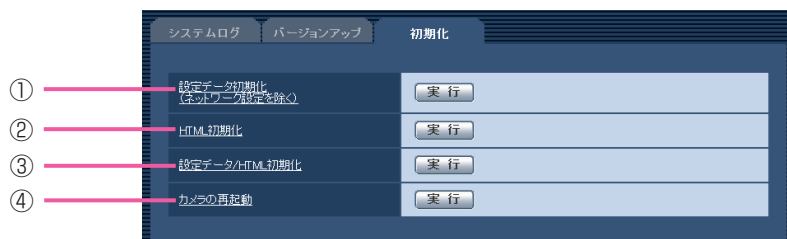
> **メモ**
> ●初期化するかどうかは、ソフトウェア付属のReadmeをお読みください。

**4 ［実行］ボタンをクリックする**

●バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面を表示します。

●バージョンアップ完了後にデータを初期化しない場合は、確認画面を表示しません。バージョンアップが完了したら、必ずウェブブラウザーのインターネット一時ファイルを削除してください。

> **重要**
> ●バージョンアップする場合は、本機と同じサブネット内にあるPCを使用してください。
> ●バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認ください。
> ●バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
> ●バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、必ず「np304_xxxxx.img」というファイル名で保存してください。
> ※「xxxxx」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
> ●バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
> ●バージョンアップ中は、ウェブブラウザー画面で操作しないでください。
> ●以下の設定データは「バージョンアップ完了後、初期化を行う」を選択した場合でも初期化しません。
> DHCPのOn／Off、IPアドレス（IPv4）、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、手動設定のOn／Off、HTTPポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定
> ●表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 本機を初期化・再起動する［初期化］

メンテナンスページの［初期化］タブをクリックします（→設定メニューの表示・操作：5、6ページ）。
ここでは、本機の設定データ、HTMLの初期化、および本機の再起動を行います。

| 項番 | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | ［設定データ初期化］ | ［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化しません。 |
| ② | ［HTML初期化］ | ［実行］ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。 |
| ③ | ［設定データ／HTML初期化］ | ［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化しません。 |
| ④ | ［カメラの再起動］ | ［実行］ボタンをクリックすると、本機を再起動します。 |

**メモ**

- 初期化、再起動したあとに、操作を開始するまでには約2分間お待ちください。
- ネットワークの設定内容（→56ページ）を初期化する場合は、本機の初期化ボタンで行います（→取扱説明書 基本編）。
- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、ロックされているなどのエラーが起こると、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます（→44、46ページ）。

## 本機に装備しているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能を用意しています。

①ユーザー認証／ホスト認証アクセスの制限（ユーザー管理ページ）
　ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、本機にアクセスするユーザーおよびPCを制限します（→48ページ）。

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限（ネットワークページ）
　HTTPポートのポート番号を変更することで、不正アクセスを防止します（→57ページ）。

**重要**

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセスを制限するなどの対策を実施してください。

**メモ**

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、本機にしばらくアクセスできなくなります。

# ヘルプを見る

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面をお読みください。

## ヘルプ画面を表示する

**●設定画面**

**1**　**［設定］ボタンをクリックする**

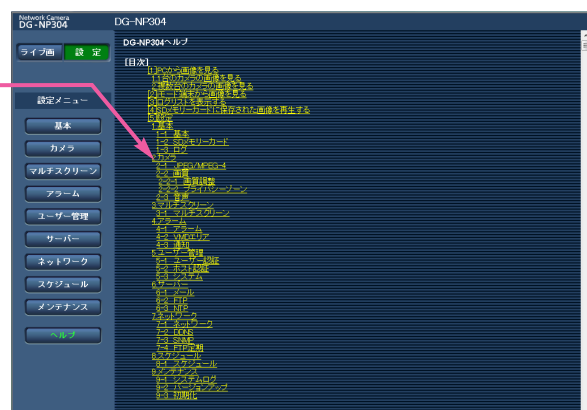
●設定画面を表示します。

下線のある項目をクリックしても、ヘルプ画面がポップアップ表示されます。
ヘルプ画面を表示したまま設定することができます。

**2**　**［ヘルプ］ボタンをクリックする**

●ヘルプ画面を表示します。

知りたい項目をクリックすると、該当する操作の説明を表示します。

**●ヘルプ画面**

# システムログ表示について

## SMTPに関するエラー表示

| 分類 | 表示内容 | エラー内容詳細 |
|---|---|---|
| POP3サーバーエラー | 認証エラー | ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。 |
| | POP3サーバー見つからず | ●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。<br>●POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 |
| SMTPサーバーエラー | SMTP認証エラー | ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。 |
| | DNSからMailサーバーアドレス解決できず | ●DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。<br>●DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 |
| | SMTPサーバー見つからず | ●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。<br>●SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 |
| 内部エラー | その他のエラー | メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。 |

## FTPに関するエラー表示

| 分類 | 表示内容 | エラー内容詳細 |
|---|---|---|
| FTPサーバーエラー | DNSからFTPサーバーアドレス解決できず | ●FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。<br>●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 |
| | FTPサーバー見つからず | |
| 接続エラー | 転送エラー | ●FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。<br>●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。 |
| | Passiveモードでのエラー | |
| | ログアウト失敗 | |
| | ディレクトリー変更に失敗 | |
| | ユーザー名パスワードエラー | |
| 内部エラー | その他のエラー | FTP機能で問題が発生しています。<br>FTP設定を再確認してください。 |

## DDNSに関するエラー表示

| 分類 | 表示内容 | エラー内容詳細 |
|---|---|---|
| 接続エラー | サーバー応答なし | ●DDNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。<br>●DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 |
| | ユーザー名パスワードエラー | ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。 |
| | IPアドレスアップデートエラー | DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起こりました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 |
| 内部エラー | その他のエラー | DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。 |

## NTPに関するエラー表示

| 分類 | 表示内容 | エラー内容詳細 |
|---|---|---|
| 接続エラー | サーバー応答なし | ●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。<br>●NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。 |
| 内部エラー | その他のエラー | NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。 |
| NTPによる時刻同期成功 | 時刻自動補正しました | 時刻修正が成功しました。 |

## ログインに関する表示

| 分類 | 表示内容 | 内容詳細 |
|---|---|---|
| ログイン | ユーザー名またはIPアドレス | ●ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。<br>●ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。 |

## 製造年月警告に関する表示

| 分類 | 表示内容 | 内容詳細 |
|---|---|---|
| ログイン | 製造からX年経過しました。点検をおすすめします。 | ●本機が製造から6年または11年以上経過した時点で表示します。安全と性能維持のために日常点検に加え、販売店での点検をおすすめします。 |

# 故障かな!?

## 修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

| 症　状 | 原　因　・　対　策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ウェブブラウザーからアクセスできない | ●ネットワークコネクターにカテゴリー5のケーブルは接続されていますか？ | 取扱説明書 基本編 |
| | ●リンクLEDは点灯していますか？<br>点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 | 取扱説明書 基本編 |
| | ●本機の電源は入っていますか？<br>本機の電源が入っているか確認してください。 | 取扱説明書 基本編 |
| | ●本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？ | 56 |
| | ●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？<br>次の方法で接続を確認してください。<br>Windowsのコマンドプロンプトで<br>＞　ping　「本機に設定したIPアドレス」<br>で、DG-NP304からReplyが返ってくれば、本機は正常に動作しています。<br>Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。<br>・本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。<br>・初期化ボタンにより、本機を再起動して初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。 | –<br>取扱説明書 基本編 |

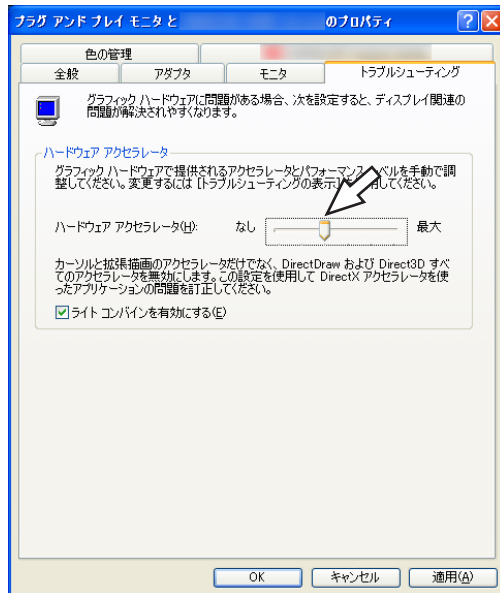
（次ページへ続く）

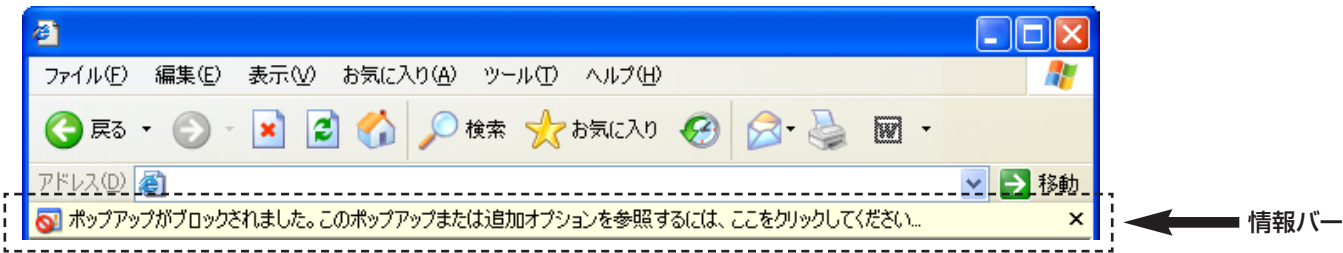
| 症　状 | 原 因 ・ 対 策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ウェブブラウザーからアクセスできない | ●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？<br>設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？<br>［同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合］<br>本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？<br>同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。<br>［本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合］<br>本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていませんか？ | － |
| SDメモリーカードの画像取得ができない | ●ネットワーク設定ページの「カメラへのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？<br>「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。 | 58 |
| | ●パスワードを間違って入力していませんか？<br>ウェブブラウザーを再起動してからパスワードを入力し直してください。 | 16 |
| | ●SDメモリーカードに接続できなくなることがあります。ウェブブラウザーを再起動してから、再度画像取得を実行してください。 | － |
| 画像が表示されない | ●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？<br>表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。 | 10、取扱説明書基本編 |
| | ●DirectX®のバージョンは9.0c以上ですか？<br>以下の手順でDirectX®のバージョンを確認してください。<br>（1）PCのスタートメニューから［ファイルを指定して実行］を選択する。<br>（2）「dxdiag」と入力し、［OK］ボタンをクリックする。<br>バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectX®を入手してください。 | － |

| 症状 | 原因・対策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 画像がぼやける | ●カメラのレンズ部にごみやほこりが付着していませんか？<br>カメラのレンズ部にごみやほこりが付着していないか確認してください。 | – |
| | ●フォーカスは正しく調節されていますか？<br>フォーカス調節を確認してください。 | 取扱説明書 基本編 |
| 画像が更新されない | ●ご使用のウェブブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 | 取扱説明書 基本編 |
| | ●ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。[F5]キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。 | – |
| カメラ画像が出ない（暗い） | ●「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？<br>明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。 | 取扱説明書 操作編 |
| 画像が白っぽい | ●「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？<br>明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。 | 取扱説明書 操作編 |
| 画像の焦点が合わない | ●レンズ部が汚れていませんか？<br>レンズ部の汚れを落としてください。 | 取扱説明書 基本編 |
| 画像がちらつく | ●ちらつきがきになる場合は、「光量制御モード」を「フリッカレス」に設定してください。 | 26 |

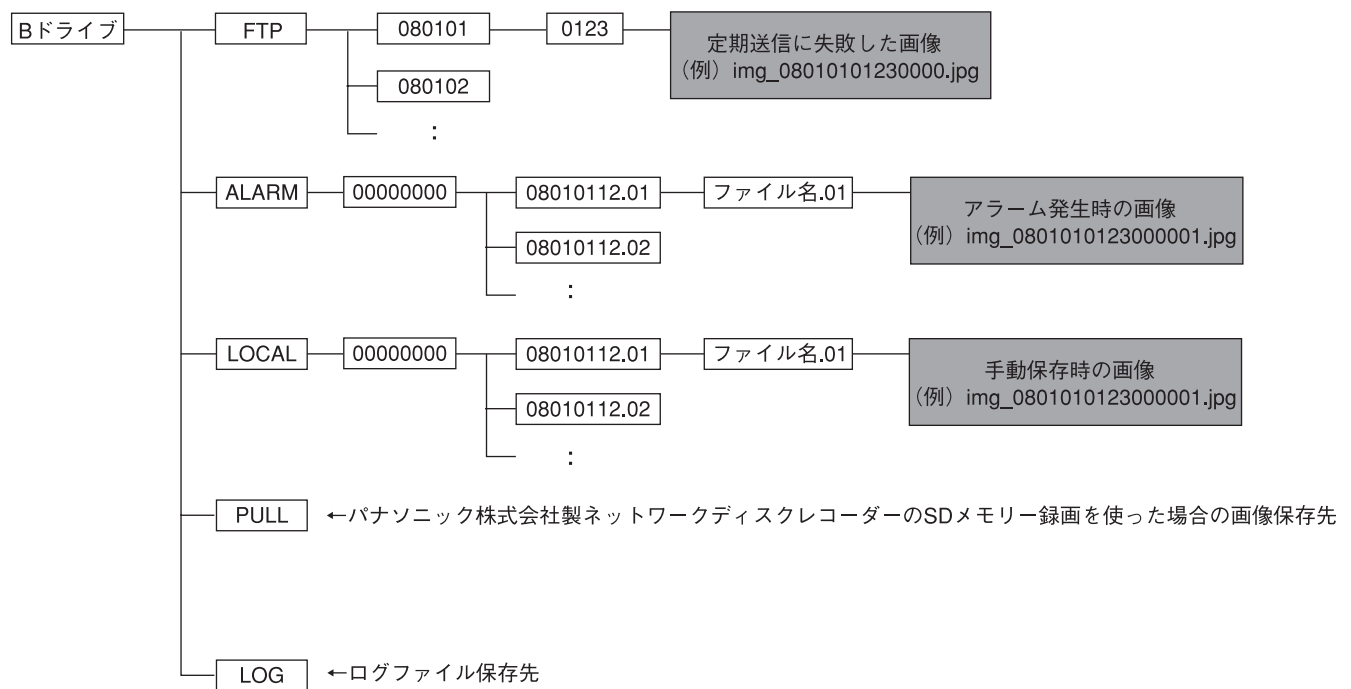
| 症　状 | 原因・対策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| SDメモリーカードに画像が保存されない | ●SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？<br>正しく取り付けられているか、確認してください。 | 取扱説明書 基本編 |
| | ●SDメモリーカードはフォーマットされていますか？<br>SDメモリーカードをフォーマットしてください。 | 13 |
| | ●SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？<br>「LOCK」になっている場合は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」に「**********KB/**********KB」と表示されます。 | － |
| | ●SDメモリーカードが故障していませんか？<br>SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。 | － |
| 音声の送話ができない | ●マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？<br>正しく接続されているか確認してください。 | 取扱説明書 基本編 |
| | ●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？<br>表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされているか確認してください。 | 10、取扱説明書 基本編 |
| ライブ画ページで［アラーム発生通知］ボタン、［AUX］ボタン、SD保存状態表示がリアルタイムに表示されない | ●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？<br>表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされているか確認してください。 | 10、取扱説明書 基本編 |

| 症　状 | 原因・対策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ライブ画ページの画像が表示されない | ● PCのキーボードの［F5］キーを押すか、［ライブ画］ボタンをクリックしてください。 | 取扱説明書<br>操作編 |
| ログリストのダウンロードができない | ● ファイルのダウンロードが無効になっていませんか？<br>Internet Explorer®の「セキュリティの設定」画面（[インターネットオプション] - [セキュリティ]）にて「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を有効にしてください。 | − |
| 画像がうまく更新されない、表示されない | ● 以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。<br>（1）Internet Explorer®で［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。<br>（2）「インターネット一時ファイル」の［ファイルの削除］ボタンをクリックする。 | − |
| | ● ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。<br>本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。 | − |

| 症　状 | 原　因　・　対　策 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 複数のウェブブラウザーを起動してMPEG-4画像を表示したとき、1つのウェブブラウザーに複数のカメラ画像が切り換わり表示される | ●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。<br>本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。<br>本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。<br>ここでは、Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版を例に説明します。<br>（1）デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。<br>（2）画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。<br>（3）［トラブルシューティング］タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDrawのアクセラレータをなしにしてください。 | － |

お使いのPCのOS環境によっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorer®のアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

| 症　状 | 対応方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」 | ●情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。 | – |
| 下記メッセージの情報バーが表示される。「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Panasonic Corporation'からの'nwcv3setup.exeインストールするには、ここをクリックしてください...」 | ●情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。<br>セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。 | – |

| 症　状 | 対応方法 | 参照ページ |
| --- | --- | --- |
| ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される | ●Internet Explorer®のセキュリティの設定画面を開き、［インターネット］を選択します。［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。<br>警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。 | － |

# Bドライブのディレクトリー構造について

# 用語集

## ＜アルファベット・数字＞

**ActiveX（コントロール）**
Microsoft社が開発したソフトウェアの部品化技術です。インターネットやイントラネットを通じてウェブサーバーからダウンロードされ、Internet Explorer®に機能を追加する形で使用されます。本ネットワークカメラでは、動画を表示するために使用しています。

**DDNS（Dynamic DNS）**
DNSサーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。

**DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）**
PCがネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

**DNS（Domain Name System）**
ネットワーク環境上で使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PCにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それをIPアドレスに変換して通信を行います。このドメイン名とIPアドレスを対応させるしくみです。

**fps（Frame Per Second）**
1秒間に表示できる画像の枚数を示します。動画のなめらかさを表します。

**FTP（File Transfer Protocol）**
ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

**IPアドレス（Internet Protocol Address）**
インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたPCや通信機器1台1台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておく必要があります。

**IPマスカレード（Network Address Port Translation, IP masquerade）**
1つのグローバルアドレスを複数のPCで共有する技術です。NATと異なりTCP/UDPのポート番号まで動的に変換されるため、1つのグローバルアドレスで複数のPCから同時に接続できます。

**LAN（Local Area Network）**
同じ建物の中やフロアー内、キャンパスなど比較的狭い地域にあるPCやプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

**MACアドレス（Media Access Control address）**
ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータの送受信が行われます。

**JPEG（Joint Photographic Experts Group）**
静止画データの圧縮方式の１つです。
連続的にJPEG 画像を送信する動画方式は、Motion JPEGと表現される場合があります。

**MPEG-4（Moving Picture Experts Group phase 4）**
動画データの圧縮方式の1つです。

**NAT（Network Address Translation）**
1つのグローバルアドレスを複数のPCで共有する技術です。

**NTP（Network Time Protocol）**
ネットワークに接続された機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

**POP(3)（Post Office Protocol Version 3）**
インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

**QVGA**
320×240ピクセルの解像度のことです。

**SDメモリーカード（Secure Digital memory card）**
小型・軽量で、大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部メモリーカードです。

**SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）**
インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールのやり取りをしたり、クライアントがサーバーにメールを送信するときに使われます。

**SMTPサーバー（SMTP　server）**
現在もっとも普及しているメール送信プロトコルであるSMTPに対応しているサーバーです。

**SMTP認証**
**(Simple Mail Transfer Protocol Authentication)**
メール送信に使うプロトコルであるSMTPにユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTPサーバーとクライアントとの間でユーザーアカウントとパスワードの認証を行います。このため、SMTPサーバーとクライアントの双方がSMTP認証対応していなければなりません。

**SNMP（Simple Network Management Protocol）**
ルーターやPC、カメラ、ネットワークディスクレコーダーなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

**TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）**
インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

**URL（Uniform Resource Locator）**
インターネット上にある文書や画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

**VGA（Video Graphics Array）**
640×480ピクセルの解像度のことです。

**VPN（Virtual Private Network）**
公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術や暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

**WAN（Wide Area Network）**
電話回線や専用線を使って、本社ー支社間など地理的に離れた地点にあるPC同士を接続し、データをやり取りすることをいいます。

## ＜あ＞

**インターネット（internet）**
全世界のネットワークを相互に接続した巨大なパソコンネットワークです。インターネットに参加するには、インターネットサービスプロバイダーと呼ばれる業者と契約する必要があります。

**ウェブブラウザー（web browser）**
Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Microsoft社のInternet Explorer®などがあります。

## ＜か＞

**（デフォルト）ゲートウェイ（gateway）**
組織内のLANなどのネットワークから外部のネットワークのPCへアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

**グローバル（IP）アドレス（global address）**
インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークでで自由に割り振ることができるプライベート（IP）アドレスがあります。

**ケーブルモデム**
インターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常のモデムとは異なり、PCとはイーサネットを通じて接続します。

## ＜さ＞

**サブネット（subnet）**
大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理や回線の分配を効率よく行うために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

**サブネットマスク（subnet mask）／サブネットプレフィックス長**
サブネット内のIPアドレスのうち何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義する数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内のPCを識別するホストアドレスと呼ばれます。

**セカンダリー（DNS）サーバー（secondary DNS server）**
DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの副系統（サブ）のサーバーです。主系統（プライマリ）のサーバーにトラブルが発生した時などに処理を肩代わりします。

**全二重（full duplex）**
双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。

## ＜た＞

**タイムゾーン**
共通で（地方）標準時を使うある国や地域全体をタイムゾーンといいます。

# 用語集（つづき）

## ＜は＞

**半二重（half duplex）**
双方向通信で、1つの通信回線を使用して、送信と受信を切り換えながら通信する方式のことです。

**ビットレート（bit rate）**
単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps：bits per second)が使われます。画像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が1秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

**ファイアウォール（firewall）**
インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの１つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムやそのようなシステムが組みこまれたPCです。

**プライベート（IP）アドレス（private address）**
主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベート（IP）アドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート（IP）アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル（IP）アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

**プライマリー（DNS）サーバー（primary DNS server）**
DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの主系統（メイン）のサーバーです。

**プラグインソフトウエア**
アプリケーションソフトウエアに機能を追加するためのプログラムです。

**フレームレート（frame rate）**
１秒間に何回画面を書き替えることができるかを表す指標です。

**ブロードバンドルーター（broadband router）**
ADSLや光ファイバーなど高速な回線でインターネットに接続する際に使うルーターです。

**プロキシサーバー（proxy server）**
組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理（プロキシ）」として、インターネットとの接続を行うPCやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。

**プロトコル（protocol）**
さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約（約束事）の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

**ポート番号（port number）**
インターネット上の通信（TCP、UDPなど）で、複数の相手と同時に接続するために、IPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレスです。

## ＜ま＞

**マルチキャスト**
ネットワーク内で、複数の相手を指定して同じデータを送信することです。

## ＜や＞

**ユニキャスト**
ネットワーク内で、1つのIPアドレスを指定して特定の相手にデータを送信することです。

**優先ストリーム機能**
本機能を使用すると、登録したIPアドレスの機器に対して他ユーザーより優先的に画像配信を行います。

## ＜ら＞

**ルーター（router）**
異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワーク宛であれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（バナハ ヨイワ）　受付：9時〜18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

**ご相談窓口における個人情報のお取り扱い**

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

| 便利メモ | お買い上げ日 | 年　　月　　日 | 品　番 | DG-NP304 |
|---|---|---|---|---|
| おぼえのため記入されると便利です | 販売店名 | 電話（　　）　　ー | | |

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号



3TR005470BZB
N0508-1108